

統合ソフトウェア操作説明書（Auto Framing 機能）

目次

統合ソフトウェア操作説明書（Auto Framing 機能）	1
本書の記載.....	3
本書の記載について.....	3
Auto Framing 機能について.....	4
機能説明.....	4
動作環境.....	6
登録および登録商標について	7
PC ハードウェアの設定	8
PC ハードウェアの設定について	8
PC のネットワーク接続.....	8
PC のネットワークアダプタ設定	8
PTZ リモートカメラ本体の設定	9
本機能が使用できないカメラモード	9
推奨設定.....	9
自動設定項目	10
Auto Framing 機能有効時の自動設定項目	10
画面の説明.....	11
本機能で使用する画面	11
Auto Framing 画面を表示する.....	11
Auto Framing 画面全体の説明.....	12
カメラ一覧表示エリアの説明	13
カメラ映像表示エリアの説明	13
カメラプリセット／ターゲットフレームエリアの説明.....	14
PTZ 操作エリアの説明.....	15
Auto Framing/Image Adjust エリアの説明	16
リモートカメラコントローラー選択／カメラ Web 画面表示エリアの説明.....	16
Auto Framing 操作	18
PTZ リモートカメラを登録する	18
オートフレーミング機能の ON/OFF を切り替える.....	18
フレーミング対象の自動選択条件.....	19
フレーミング動作のスタート／ストップを切り替える	20
1人を対象としてフレーミングを行う	21
複数人を対象としたグループショットを行う	23

フレーミング設定（構図とカメラ移動速度／感度の設定）を行う.....	25
ターゲットフレームの登録・呼び出し操作を行う.....	27
Auto Start Area を設定する.....	30
Mask Area を設定する.....	32
フレーミングの状態を確認する.....	33
カメラを手動で操作する.....	33
カメラのプリセット操作を行う.....	33
詳細設定を行う.....	34
リモートカメラコントローラー連携.....	37
リモートカメラコントローラー連携について.....	37
リモートカメラコントローラー連携で可能となる動作.....	37
リモートカメラコントローラー連携のシステムと設定の例.....	38
リモートカメラコントローラー連携の設定を行う.....	39
アカウント権限による機能制限.....	45
権限による制限の一覧.....	45

本書の記載

本書の記載について

- 本書内のイラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- 本書では、パーソナルコンピュータを「PC」と記載しています。
- 「本ソフトウェア」は Media Production Suite ソフトウェアを指しています。
- 「本機能」は Auto Framing 機能のことを指しています。

Auto Framing 機能について

機能説明

Auto Framing 機能は、PTZ リモートカメラと連動して高品位な自動追尾撮影（オートフレーミング）を行う機能です。主な特徴は以下となります。

1. 構図を再現する高品位な自動追尾撮影

PTZ リモートカメラと連動して、ユーザーが設定した構図を高精度に再現しながらの自動追尾撮影（オートフレーミング）を行うことができます。高度な人体検出／カメラ制御により、フレーミング対象が移動するシーンも安定したアングルで撮影でき、ヘッドルームが一定に保たれるなど、クオリティの高いカメラワークを実現します。

2. 詳細なフレーミング設定が可能

フレーミングを行う際の構図（フレーミング対象の位置とサイズ）、カメラの移動速度と感度を詳細に設定することができます。

3. フレーミング設定の登録が可能（Target Frame 機能）

設定した構図、カメラの移動速度と感度をプリセットとして複数個記憶させ、任意のタイミングで呼び出すことができます。

4. 複数人のグループショットに対応

カメラ映像の中に被写体が複数人いる場合に、被写体の中からフレーミング対象を複数人選択して、選択された対象全員がカメラ映像内に収まるようにフレーミングを行うことができます。

5. 複数台カメラの同時制御が可能

複数台の PTZ リモートカメラで、同時にフレーミング制御を行うことができます。同時に使用可能な台数は PC の性能によって変わります。

6. 顔追尾オートフォーカス

フレーミング対象の顔にオートフォーカスを追尾させることができます。

7. リモートカメラコントローラーとの連携動作が可能

当社製リモートカメラコントローラーと同時使用することで、リモートカメラコントローラーで PTZ リモートカメラを操作したときにフレーミングの制御を停止する、本機能の GUI とリモートカメラコントローラーでカメラ選択を同期させる、などの連携動作を行うことができます。

<NOTE>

- ・本機能は画像処理を使用しているため、追尾対象の誤検出が発生することがあります。
誤検出時の対応などのため、オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。

動作環境

本機能を使用するには、以下の環境が必要です。

■インストール PC

・OS ※

Windows Server 2022

Windows 11

Windows 10 64bit (バージョン 21H2 以降)

・ハードウェア

CPU : Intel Core 第7世代 (Kaby Lake) 以降

メモリ : 8GB 以上

ディスプレイ : 1920x1080 以上

ストレージ : 2GB 以上の空き容量

上記環境でカメラ4台以上のオートフレーミング動作が可能です。

・ソフトウェア

Web ブラウザ : Microsoft Edge、 Google Chrome

※ : インストール PC の Windows OS は C ドライブにインストールされた状態でご使用ください。

■クライアント (ブラウザ端末)

・OS

Windows 11

Windows 10 64bit (バージョン 21H2 以降)

macOS 13 (Ventura) 以降

iPadOS 16 以降

・ハードウェア

ディスプレイ : 1920x1080 以上 (iPad 以外)

・ソフトウェア

Web ブラウザ : Microsoft Edge、 Google Chrome

■PTZ リモートカメラ

本機能を使用するには、以下の PTZ リモートカメラが必要です（2025 年 1 月時点）

- ・AW-UE160/163 **ファームウェアバージョン 1.99 以上**

PTZ リモートカメラのファームウェアバージョンが上記バージョン未満の場合は、本ソフトウェアの Device View 機能の Easy IP Setup Tool Plus でファームウェアを更新することができます。

インストール PC がインターネットに接続されていない場合、以下の Web サイトから最新のファームウェアをダウンロードして上記の Easy IP Setup Tool Plus をご使用ください。

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/top.html>

■リモートカメラコントローラー

本機能でリモートカメラコントローラー連携を行うには、以下のリモートカメラコントローラーが必要です（2025 年 1 月時点）

- ・AW-RP150
- ・AW-RP60

登録および登録商標について

- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Intel、Intel Core i7、Intel Core i9 は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- ・その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM マークは明記していません。

PC ハードウェアの設定

PC ハードウェアの設定について

本機能を使用する前に、本ソフトウェアをインストールしている PC で以下の設定を行ってください。

- ・ PC のネットワーク接続
 - ・ PC のネットワークアダプタの設定
-

PC のネットワーク接続

本プラグインを使用する場合、本ソフトウェアをインストールしている PC と PTZ リモートカメラ／リモートカメラコントローラー間には有線 LAN 接続を行うことを推奨します。無線 LAN 接続の場合、処理のパフォーマンスが低下して、フレーミング対象をロストしやすくなるなどの症状が発生する場合があります。

PC のネットワークアダプタ設定

本プラグインを使用する場合、PC のネットワークアダプタの省電力関連の設定をオフまたは、無効にすることを推奨します。省電力設定された状態で使用する場合、カメラの映像が途切れるなどの症状が発生する場合があります。フレーミングの性能に影響します。

設定は以下の手順で行います。

1. Windows のスタートメニューで「検索」を開いて、検索ボックスに“デバイスマネージャー”を入力します。
2. 検索結果にデバイスマネージャーが表示されるので、クリックしてデバイスマネージャーを開きます。
(Windows のスタートボタンを右クリックし、表示されたリストからデバイスマネージャーをクリックすることで、デバイスマネージャーを開くこともできます)
3. デバイスマネージャーのネットワークアダプタの項目をダブルクリックし、ネットワークアダプタのドロップダウンリストを展開します。
4. 本ソフトウェアで使用するネットワークアダプタ上で右クリックし、表示されたリストからプロパティをクリックし、ネットワークアダプタのプロパティ画面を開きます。
5. [詳細設定] タブをクリックし、下記項目の設定を変更します。
 - (1) プロパティの省電力イーサネットの値をオフに設定します。
 - (2) プロパティの低省電力モードの値を無効に設定します。
6. [OK] ボタンをクリックします。

PTZ リモートカメラ本体の設定

本機能が使用できないカメラモード

・PTZ リモートカメラが下記のフォーマット設定のとき、フレーミング機能 Enable スイッチを ON にすることができません。

Format (カメラの Web 画面で、Setup -> Basic Config -> Format の設定)

1080/119.88p

1080/100p

・PTZ リモートカメラが下記の Streaming Mode 設定のとき、フレーミング機能 Enable スイッチを ON にすることができません。

Streaming Mode (カメラの Web 画面で、Setup -> Video over IP の設定)

H.264(UHD)

H.265 (UHD)

JPEG (UHD)

RTMP (UHD)

SRT (H.264 UHD)

SRT (H.265 UHD)

NDI|HX V2 (UHD)

推奨設定

・PTZ リモートカメラの User auth を On でご使用の場合、カメラの操作が遅れる場合があります。この現象を改善するため、カメラの Web 画面の Setup で下記の設定を行うことを推奨します。

User Auth -> Mode -> Wait time mode : Mode2

・スムーズなパン・チルトの動き出し・停止動作を実現するため、カメラの Web 画面の Setup で下記の設定を行うことを推奨します。

Lens -> O.I.S. Mode : O.I.S (PAN/TILT)

Pan/Tilt -> P/T Acceleration: Manual

Rise S-Curve: 0

Fall S-Curve: 0

Rise Acceleration: 128

Fall Acceleration: 128

自動設定項目

本ソフトウェアでは、自動的に PTZ リモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

- ・ JPEG 設定（カメラの Web 画面で、Setup->Video over IP -> JPEG の設定）

JPEG(1)

JPEG transmission : On

Image capture size : 1280x720

Refresh interval : NTSC 時 : 30fps、PAL 時 : 25fps

Image quality : fine

JPEG(3)

JPEG transmission : On

Image capture size : 320x180

Refresh interval : NTSC 時 : 30fps、PAL 時 : 25fps

Image quality : fine

Auto Framing 機能有効時の自動設定項目

本機能が有効になるとき、自動的に PTZ リモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

以下の自動設定される項目により、本機能の性能を最大限引き出すことができます。

- ・ Pan/Tilt の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> System-> Pan/Tilt の設定）

Pan/Tilt Speed Mode : Normal

Speed With Zoom Position : Off

- ・ Lens の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> Lens の設定）

Zoom Mode : Opt Zoom

Digital Extender : Off

- ・ UHD Crop の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> UHD Crop の設定）

UHD Crop -> IP OUT1(H.264/H.265) : FULL

- ・ Tracking Data Output の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> Tracking Data Output の設定）

Connection type : IP (UDP) On

IP out : Client4 On, Client 4 Port : 10160

- ・ Smart Picture Flip の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> Pan/Tilt の設定）

Smart Picture Flip Mode : Off

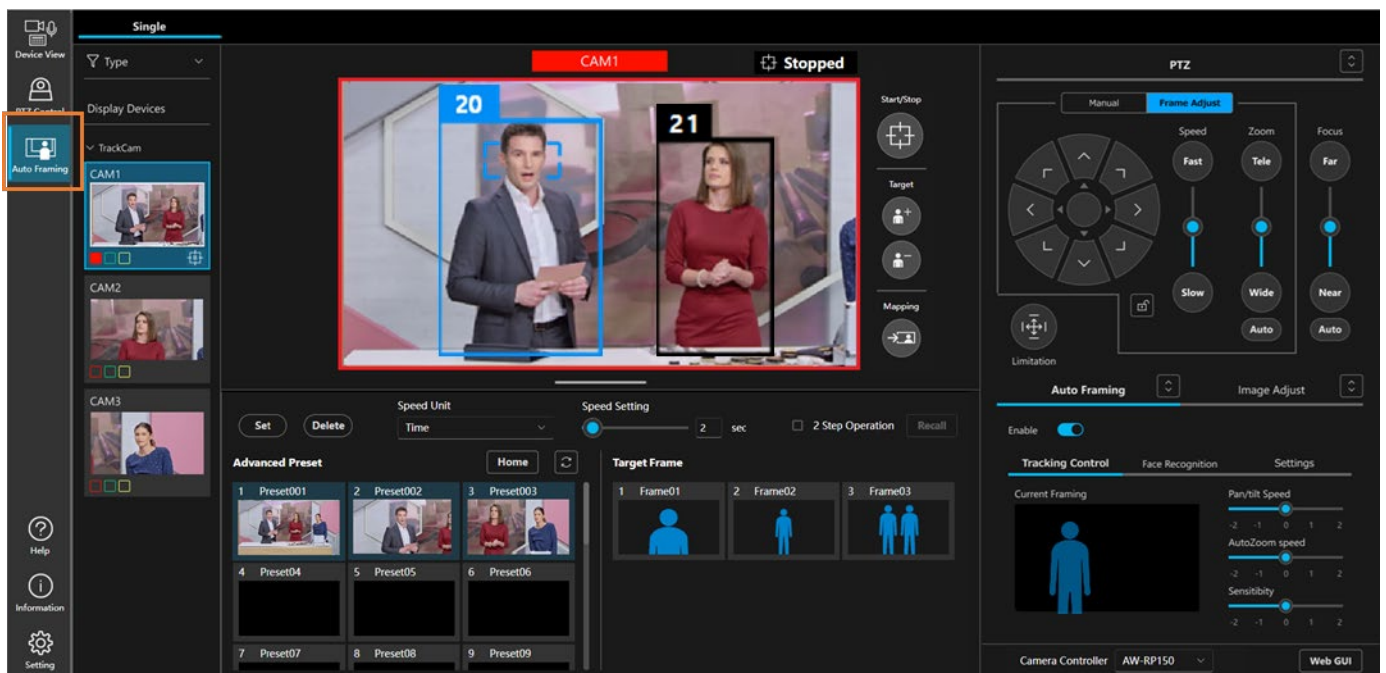
画面の説明

本機能で使用する画面

本機能で使用する画面は、以下の3つです。

- Device View 画面
PTZ リモートカメラ、リモートカメラコントローラーの追加／削除を行うときに使用します。
詳細は Device View 機能の操作説明書を参照ください。
- Auto Framing 画面
本機能におけるメインの操作を行うときに使用します。
- Setting 画面
リモートカメラコントローラーとの連携機能用ポート番号を設定するときに使用します。
詳細は Setting 機能の操作説明書を参照ください。

Auto Framing 画面を表示する

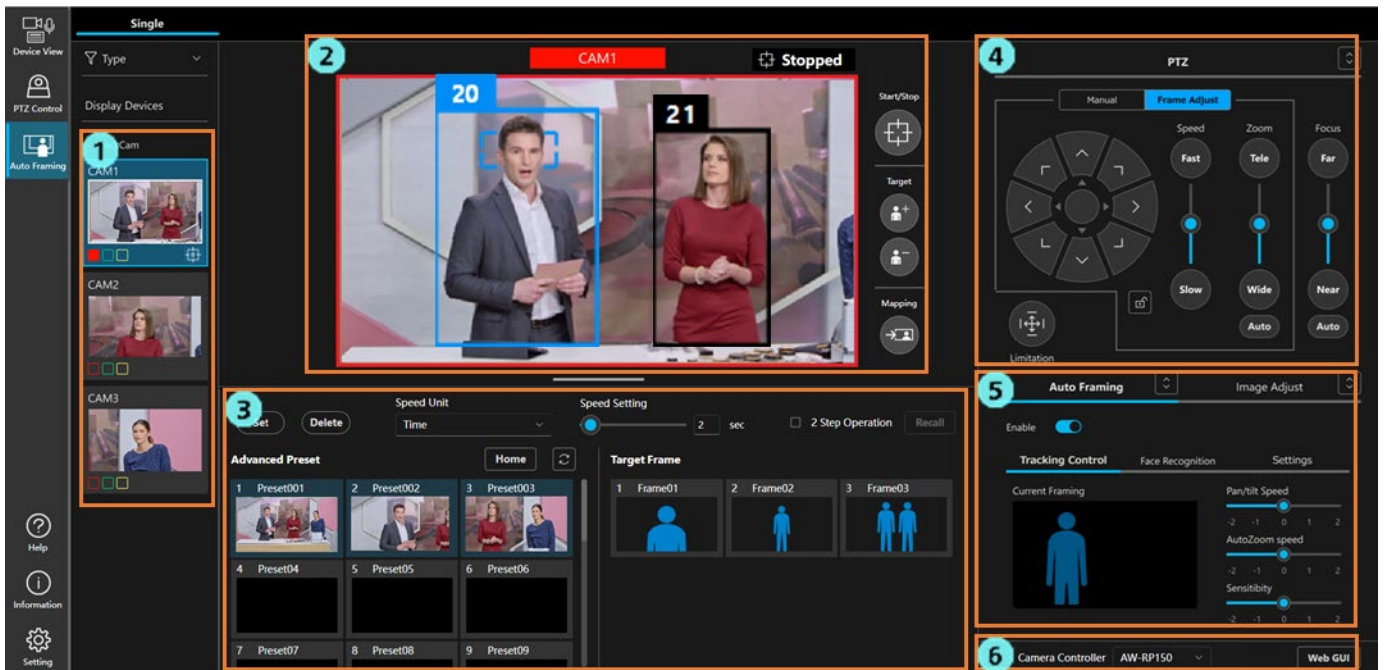


画面左端の Auto Framing ボタンをクリックすると Auto Framing 画面が表示されます。

<NOTE>

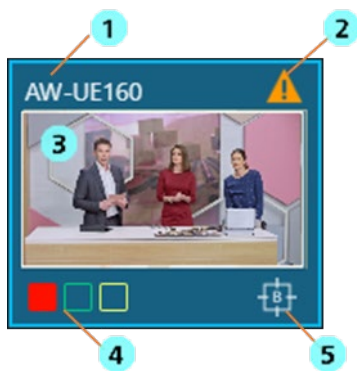
- ・ Auto Framing ボタンは、本機能がサポートする PTZ リモートカメラが接続されているときのみ表示されます。本機能がサポートする PTZ リモートカメラについては、本書の「[動作環境](#)」を参照ください。
- ・ ブラウザの「タブを複製」は使用しないでください。プリセットの表示が一方に反映されない等の表示不具合の原因となります。複数の画面が必要な場合は新しいウィンドウを開いてください。

Auto Framing 画面全体の説明



1. カメラ一覧表示エリア
本ソフトウェアに登録されている PTZ リモートカメラの一覧を表示します。
いずれかの PTZ リモートカメラを選択すると、右側の画面表示が選択されているカメラのものに切り替わります。
2. カメラ映像表示エリア
PTZ リモートカメラの映像と被写体の検出枠などを表示します。
フレーミングの状態確認や一部の操作もこのエリアで行います。
3. カメラプリセット／ターゲットフレームエリア
カメラプリセットと、ターゲットフレーム（オートフレーミングの構図）を管理します。
4. PTZ 操作エリア
カメラの Pan/Tilt/Zoom 操作、もしくはフレーミング時の構図調整などを行います。
5. Auto Framing／Image Adjust エリア
Auto Framing タブで本機能の設定を、Image Adjust タブでカメラの画質調整を行います。
6. リモートカメラコントローラー選択／カメラ Web 画面表示エリア
リモートカメラコントローラー連携を行うときの対象コントローラー選択と、カメラの Web 画面表示を行います。

カメラ一覧表示エリアの説明



1. カメラ名表示

PTZ リモートカメラの名称を表示します。

2. 警告表示

PTZ リモートカメラもしくは本ソフトウェアに警告が発生している場合にアイコンを表示します。

アイコンをクリックすると異常の内容を表示します。

3. サムネイル表示

PTZ リモートカメラで撮影している映像のサムネイルを表示します。

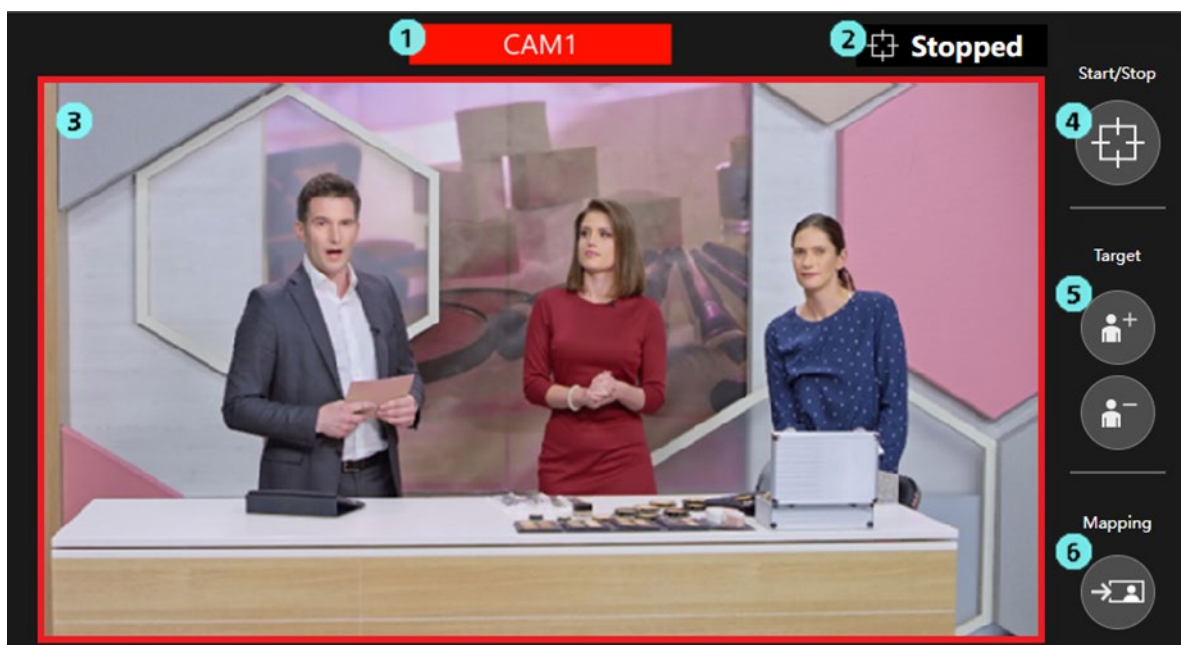
4. タリーランプ点灯状態表示

PTZ リモートカメラのタリーランプ点灯状態を表示します。

5. オートフレーミング状態表示

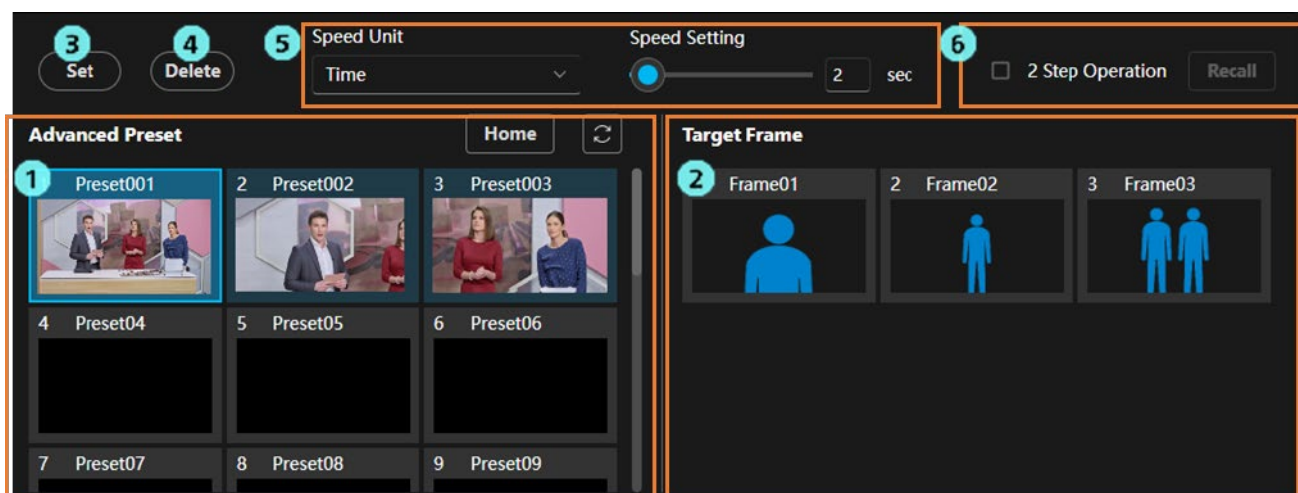
PTZ リモートカメラがオートフレーミング動作中のときにアイコンを表示します。

カメラ映像表示エリアの説明



1. カメラ名表示
PTZ リモートカメラの名称を表示します。
カメラのタリーランプが点灯している場合、そのタリー色で表示を行います。
※複数のタリーランプが同時点灯している場合、赤>緑>黄の優先順位で表示します。
2. フレーミング状態表示
フレーミングの動作状態を表示します。
詳細は本書の「[フレーミングの状態を確認する](#)」を参照ください。
3. カメラ映像表示
PTZ リモートカメラで撮影している映像を表示します。
カメラの赤タリーランプが点灯している場合、カメラ映像の周囲に赤枠を表示します。
4. フレーミング動作のスタート/ストップ切り替えボタン
ボタンを押下することで、フレーミング動作のスタート/ストップを切り替えます。
詳細は本書の「[フレーミング動作のスタート/ストップを切り替える](#)」を参照ください。
5. フレーミング対象の追加/削除ボタン
フレーミング対象を追加/削除するときに使用します。
詳細は本書の「[複数人を対象としたグループショットを行う](#)」を参照ください。
6. フレームマッピングボタン
ボタンを押下すると、押下時点のフレーミング対象の位置とサイズを現在のフレーミング設定に反映させます。
詳細は本書の「[フレーミング設定（構図とカメラ移動速度/感度の設定）を行う](#)」を参照ください。

カメラプリセット/ターゲットフレームエリアの説明



1. カメラプリセット表示
PTZ リモートカメラのプリセットを表示します。
本機能でプリセットの登録を行った場合、そのときのフレーミング設定がプリセットに紐づけられて保存されます。保存されたフレーミング設定の構図はプリセットのサムネイル上に人型シルエットの形で表示されます。

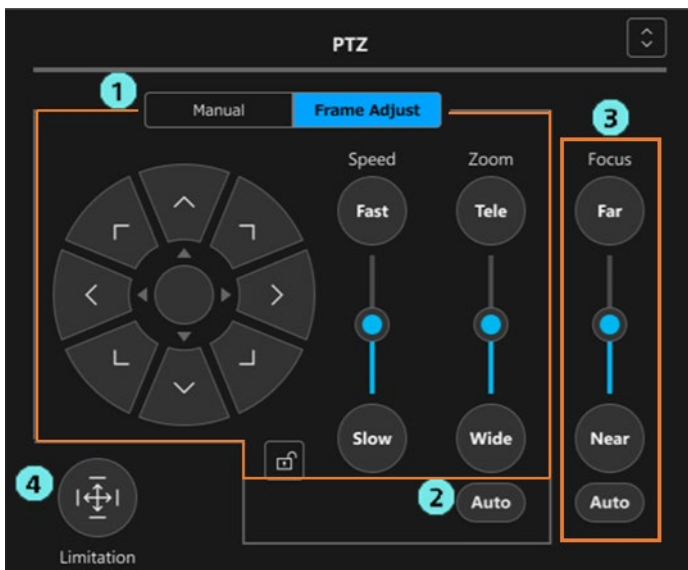
詳細は本書の「[カメラのプリセット操作を行う](#)」を参照ください。

<NOTE>

・本機能で表示されるプリセットは 20 個までとなります。

2. ターゲットフレーム (Target Frame) 表示
プリセットとして登録したフレーミング設定 (Target Frame) を表示します。
詳細は本書の「[フレーミング設定のプリセット操作を行う](#)」を参照ください。
3. プリセット登録ボタン
カメラプリセット／ターゲットフレームの登録を行うときに使用します。
4. プリセット削除ボタン
カメラプリセット／ターゲットフレームの削除を行うときに使用します。
5. カメラ移動速度設定エリア
カメラプリセット／ターゲットフレームを呼び出したときのカメラ移動速度を設定します。
6. 2段階呼び出し操作エリア
カメラプリセット／ターゲットフレームの2段階呼び出しを行うときに使用します。

PTZ 操作エリアの説明



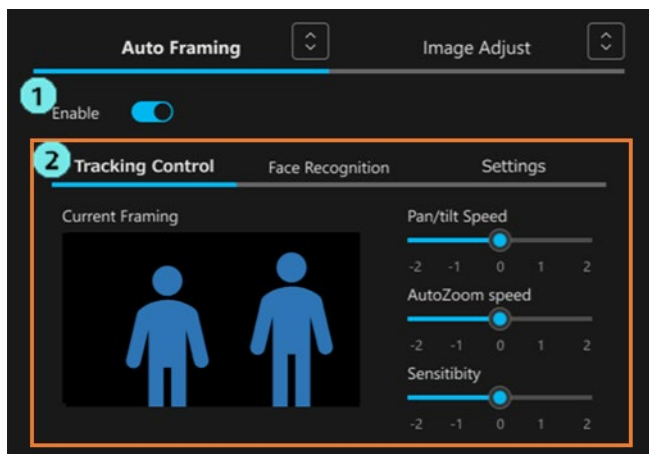
1. PTZ 操作エリア
Manual タブが選択されているときはカメラの手動操作モード、Frame Adjust タブが選択されているときはフレーミング時の構図調整モードで動作します。
詳細は本書の「[カメラを手動で操作する](#)」「[フレーミング設定 \(構図とカメラ移動速度／感度の設定\) を行う](#)」を参照ください。
2. Auto Zoom ON/OFF ボタン
フレーミング時に Zoom 制御を自動で行うかどうかを設定します。
詳細は本書の「[フレーミング動作のスタート／ストップを切り替える](#)」を参照ください。
3. Focus 操作エリア
カメラの Focus 調整、Auto Focus の ON/OFF 切り替えを行います。
4. Pan/Tilt Limitation 操作エリア

カメラの可動範囲を設定するときに使用します。

Auto Framing/Image Adjust エリアの説明

本エリアは Auto Framing タブと Image Adjust タブの 2 画面で構成されています。

Image Adjust タブ画面の動作は PTZ Control 機能と同等のため、ここでは Auto Framing タブ画面の動作について説明します。



1. オートフレーミング機能 Enable スイッチ

PTZ リモートカメラのオートフレーミング機能を有効化するスイッチです。

詳細は本書の「[オートフレーミング機能の ON/OFF を切り替える](#)」を参照ください。

2. フレーミング動作設定エリア

Tracking Control/Face Recognition/Settings の 3 つのタブで構成されています。

・ Tracking Control タブ

フレーミング時の構図表示、カメラの速度と感度の調整を行います。

詳細は本書の「[フレーミング設定（構図とカメラ移動速度/感度の設定）を行う](#)」を参照ください。

・ Face Recognition タブ

本タブは将来の機能拡張用のため、現在のバージョンでは動作しません。

・ Settings タブ

フレーミング時の Auto Start Area/Mask Area の設定、詳細設定を行います。

詳細は本書の「[Auto Start Area を設定する](#)」「[Mask Area を設定する](#)」「[詳細設定を行う](#)」を参照ください。

リモートカメラコントローラー選択/カメラ Web 画面表示エリアの説明



1. リモートカメラコントローラー選択ボックス

リモートカメラコントローラー連携を行うとき、対象となるリモートカメラコントローラーを選択します。

詳細は本書の「[リモートカメラコントローラー連携の設定を行う](#)」を参照ください。

2. カメラ Web 画面表示ボタン

ボタンを押下すると、PC の Web ブラウザで PTZ リモートカメラの Web 画面を表示します。

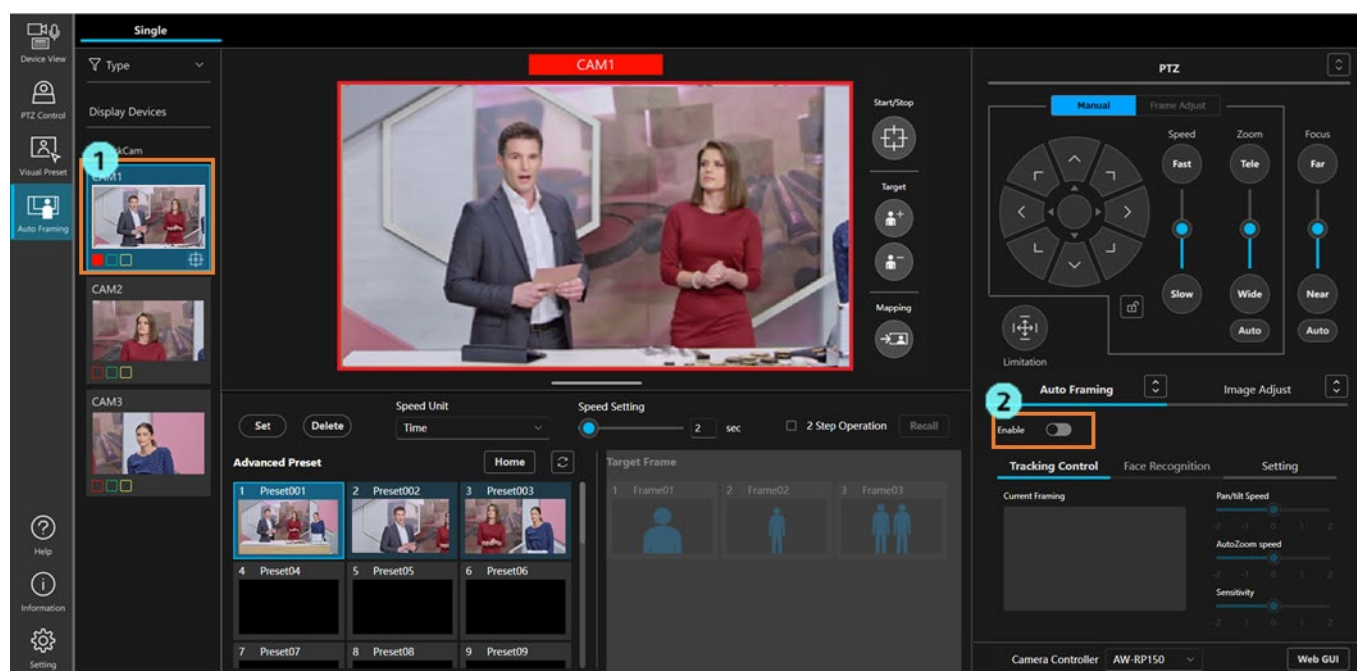
Auto Framing 操作

PTZ リモートカメラを登録する

本機能を利用するには、本ソフトウェアの Device View 機能の画面で PTZ リモートカメラの登録を行う必要があります。

登録手順の詳細は Device View 機能の操作説明書の「デバイスの登録」を参照ください。

オートフレーミング機能の ON/OFF を切り替える



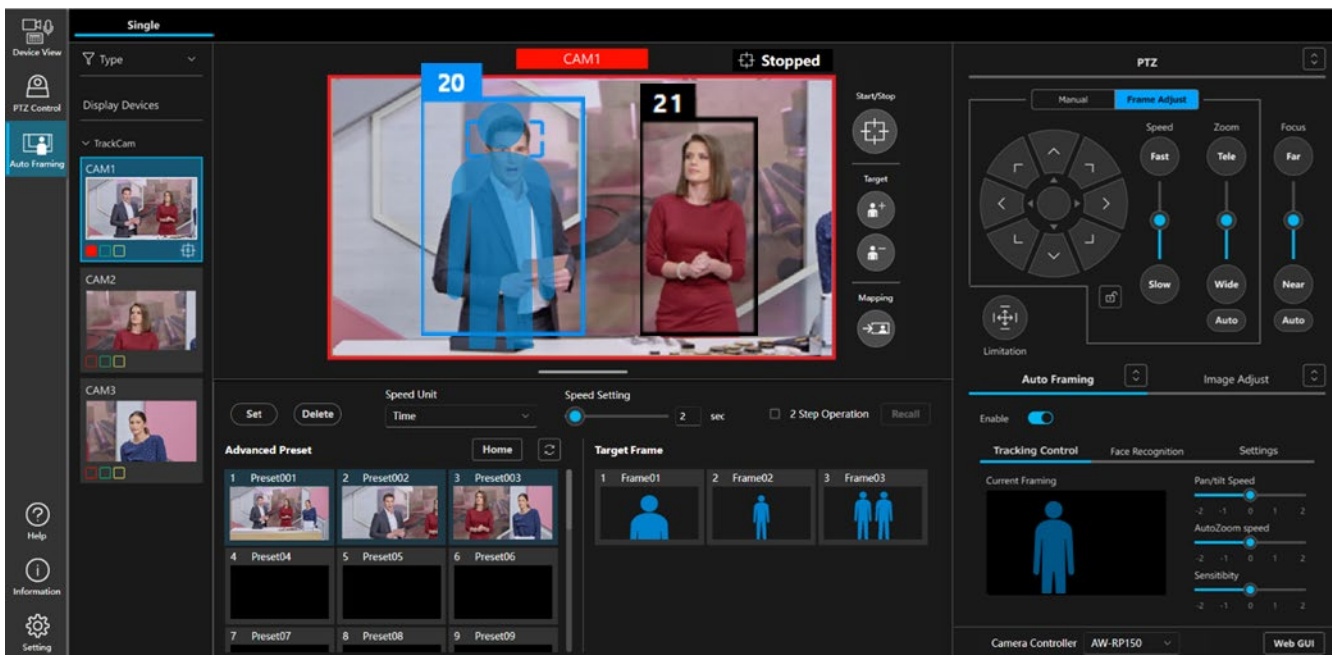
本機能を使用する場合、PTZ リモートカメラのオートフレーミング機能を ON にする必要があります。

オートフレーミング機能の ON は以下の手順で行います。

1. カメラ一覧表示エリアで、本機能をサポートする PTZ リモートカメラを選択します。
2. 画面右側の Auto Framing エリアが有効になるので、Enable スイッチをクリックして ON 状態にします。

オートフレーミング機能を ON にすると、カメラ映像表示と画面右下の Current Framing 欄に、現在のフレーミング設定の構図が人型シルエットで表示されます。また、カメラ映像内で人を検出すると、検出された人の周りに人体枠が表示され、条件を満たすとフレーミング対象を設定します。フレーミング動作スタート/スト

アップボタンを有効にすると、フレーミング対象を人型シルエットの位置と大きさに一致するようにカメラ制御を開始します。



オートフレーミング機能 Enable スイッチが ON のときに再度 Enable ボタンをクリックすると、機能が OFF になります。

<NOTE>

- ・カメラ一覧表示エリアで本機能をサポートしていない PTZ リモートカメラを選択した場合、Auto Framing エリアが有効にならず、オートフレーミング機能を ON にすることができません。その場合、手動での PTZ 操作／プリセット操作、Image Adjust 操作のみ可能となります。

フレーミング対象の自動選択条件

フレーミング Enable スイッチが ON のときに以下の開始条件を満たすと、フレーミング対象を設定します。フレーミング対象の人物は青色もしくは水色の枠で表示されます。

開始条件

- ・ Auto Start Area の設定が OFF のとき
カメラの映像内に人を検出したとき、その人をフレーミング対象に設定します。
- ・ Auto Start Area の設定が ON のとき
Auto Start Area 内で人を検出したとき、その人をフレーミング対象に設定します。

<NOTE>

- ・カメラ映像内に複数の人を検出した場合、ターゲットフレームの構図に最も近い人物がフレーミング対象になります。
フレーミング対象を追加してグループショットを行いたい場合は「[複数人を対象としたグループショットを行う](#)」の内容に従ってフレーミング対象を追加してください。

- ・フレーミング動作のスタート/ストップボタンを ON にするとカメラの制御が開始され、フレーミング対象の動きに合わせてカメラが移動します。

フレーミング動作のスタート/ストップを切り替える

カメラ映像横にあるフレーミング動作のスタート/ストップ切り替えボタン(下図のオレンジ色の枠線部)で、カメラ Pan/Tilt/Zoom フレーミング制御の有効/無効を切り替えます。



■ボタンが OFF 状態 (グレー表示)

カメラの Pan/Tilt/Zoom フレーミング制御が無効の状態です。
フレーミング対象が動いてもカメラは移動しません。

■ボタンが ON 状態 (青色表示)

カメラの Pan/Tilt/Zoom フレーミング制御が有効の状態です。

Pan/Tilt の制御は常に自動で行われますが、Zoom の制御は PTZ 操作部の Auto Zoom ボタンの状態によって異なります。

- ・ Auto Zoom ボタンが OFF のとき

カメラの Pan/Tilt のみ、制御を行います。

カメラの Zoom 位置は PTZ 操作部の Zoom スライダーの位置に固定されます。

- ・ Auto Zoom ボタンが ON のとき

カメラの Pan/Tilt/Zoom すべての制御を行います。

1 人を対象としてフレーミングを行う

ここでは、フレーミング対象が 1 人の場合にフレーミングを行うときの動作について説明します。

■カメラ映像の表示

フレーミング対象の人体枠は青色、対象以外の人体枠は黒色で表示されます。下図の場合、左側の人がフレーミング対象となっています。フレーミング対象の顔に表示される矩形は顔追尾オートフォーカスの対象を表しています。

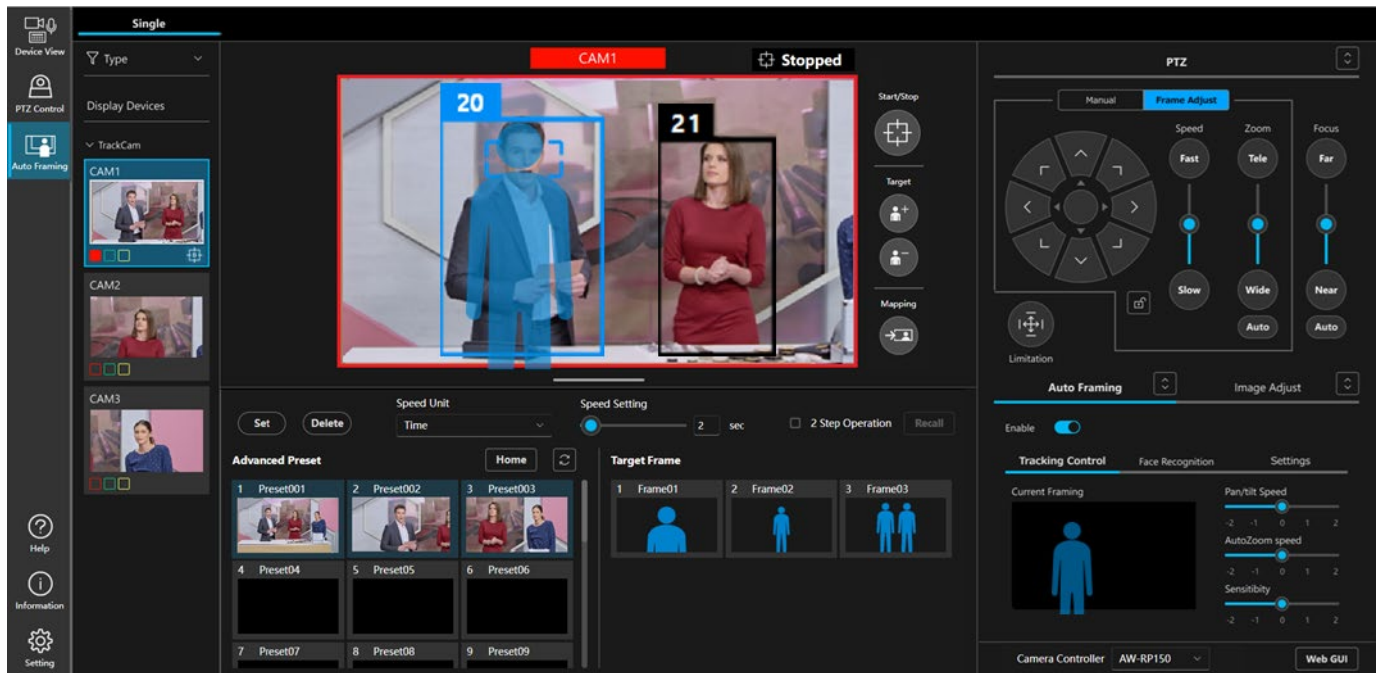
人体枠の上部には人を区別するための管理番号が表示されます。人が画面外に出るなどしてロストした後、に再検出されたときは、同じ人でも異なる管理番号が付与されることがあります。



■フレーミング設定とフレーミングの動作

画面右下の Current Framing 欄に、現在のフレーミング設定の構図を示す人型シルエットが表示されます。フレーミング動作のスタート/ストップ切り替えボタンが OFF のときはカメラ映像上にも人型シルエットが表示されます。

1 人を対象としたフレーミングのときは、基本的に人型シルエットの表示は 1 つのみとなります。フレーミング中はフレーミング対象の位置と大きさが人型シルエットの位置と大きさと一致するようにカメラを制御します。



■カメラのオートフォーカス ON 時のフォーカス動作

カメラのオートフォーカスが ON のとき、オートフォーカス対象になっている人にフォーカスが合うようにフォーカスが動作します。オートフォーカス対象になっている人の顔の周辺には、オートフォーカス対象であることを示す小さな矩形が表示されます。

1 人を対象としたフレーミングの場合、フレーミング対象になっている人がオートフォーカス対象になります。フレーミング対象以外の人をオートフォーカス対象として設定することはできません。

■フレーミング対象を別の人が変更するときの操作

カメラ映像内のフレーミング対象以外の人（黒い人体枠で表示されている人）をクリックすると、フレーミング対象がクリックした人に変更されます。合わせて、カメラのオートフォーカス対象もクリックした人に変更されます。

■フレーミング対象を見失った場合の動作

フレーミング対象を見失った場合の動作は以下のようになります。

1. Detail Setting の Duration before judgement of lost state で設定されている時間の間、対象が再検出されるのを待ちます。
 - 時間内に対象が再検出されたとき：その人を対象としてフレーミングを続行します。
 - 時間内に対象が再検出されなかったとき：ロスト状態となり、手順 2. に進みます。
2. Detail Setting で Initial Position が設定されているときは、Detail Setting の Duration before recalling initial position で設定された時間が経過後、Initial Position が呼び出され、手順 3. に進みます。Detail Setting で Initial Position が設定されていないときは、何もせず手順 3. に進みます。
3. フレーミング対象の検出待ち状態に戻ります。開始条件を再度満たすと、フレーミングを開始します。

複数人を対象としたグループショットを行う

ここでは、フレーミング対象を追加して複数人を対象としたグループショットを行うときの動作について説明します。

■フレーミング対象を追加／削除する

フレーミング対象の追加は以下の手順で行います。

1. カメラ映像右の Target の + ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. カメラ映像内の追加したい人をクリックすると、クリックした人がフレーミング対象として追加されます。



追加したフレーミング対象の削除は以下の手順で行います。

1. カメラ映像右の Target の - ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. カメラ映像内の削除したい人をクリックすると、クリックした人がフレーミング対象から削除されます。



<NOTE>

- ・フレーミング対象として設定できる人数は最大 10 人です。
- ・フレーミング対象が 2 人の状態でいずれかの対象を削除した場合、1 人を対象としたフレーミングに動作が変更されます。

■カメラ映像の表示

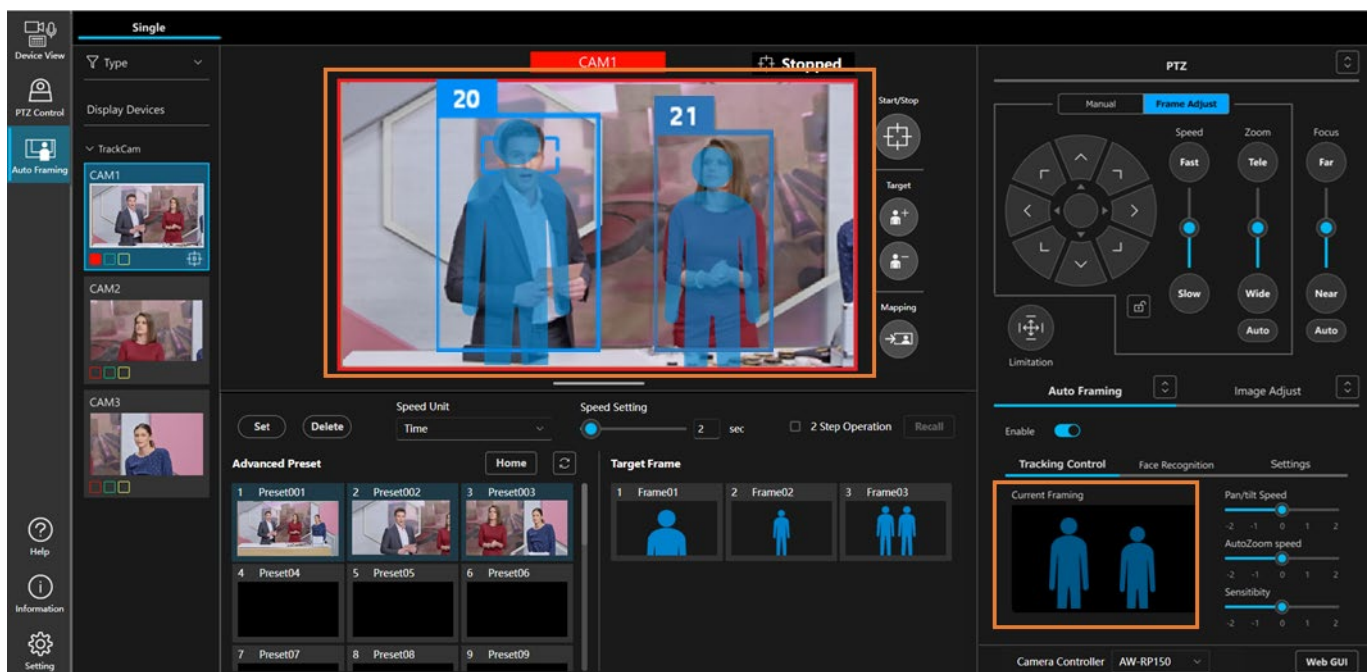
フレーミング対象の人体枠は青色、フレーミング対象以外の人体枠は黒色で表示されます。

フレーミング対象をクリックすると、一人を選択中として明るい青色の枠で表示します。選択中の対象はオートフォーカスの対象になるとともに、ワンショットの Target Frame を呼び出す際のフレーミング対象になります。

人体枠の上部には人を区別するための管理番号が表示されます。人が画面外に出るなどしてロストした後、に再検出されたときは、同じ人でも異なる管理番号が付与されることがあります。

■フレーミング設定とフレーミングの動作

画面右下の Current Framing 欄に現在の構図を示す人型シルエットが表示されます。フレーミング動作のスタート/ストップ切り替えボタンが OFF のときはカメラ映像上にも人型シルエットが表示されます。グループショットのときは、基本的に人型シルエットの表示は2つとなります。フレーミング中は、フレーミング対象となっている人のうち両端に位置する2人の位置と大きさが、2つの人型シルエットの位置と大きさとできるだけ一致するようにカメラを制御します。



■カメラのオートフォーカス ON 時のフォーカス動作

カメラのオートフォーカスが ON のとき、カメラ映像内でオートフォーカス対象になっている人にフォーカスが合うようにフォーカスが動作します。オートフォーカス対象になっている人の顔の周辺には、オートフォーカス対象であることを示す小さな矩形が表示されます。

■オートフォーカス対象を別の人が変更するときの操作

カメラ映像内のいずれかの人をクリックすると、その人にオートフォーカス対象が変更されます。グループショットのときはフレーミング対象以外の人をオートフォーカス対象に設定することができます。

■フレーミング対象を見失った場合の動作

フレーミング対象に設定されている人のいずれかを見失った場合の動作は以下のようになります。

1. Detail Setting の Duration before judgement of lost state で設定されている時間の間、対象が再検出さ

れるのを待ちます。

時間内に対象が再検出されたとき：フレーミングを続行します。

時間内に対象が再検出されなかったとき：ロスト状態となり、手順 2.に進みます。

2. ロストした人をフレーミング対象から削除してフレーミングを続行します。

※ロスト前のフレーミング対象が 2 人だった場合、1 人を対象としたフレーミングに動作が変更されます。

フレーミング設定（構図とカメラ移動速度／感度の設定）を行う

フレーミング中の構図（フレーミング対象を表示する位置と大きさ）、カメラの移動速度と感度をフレーミング設定として調整することができます。

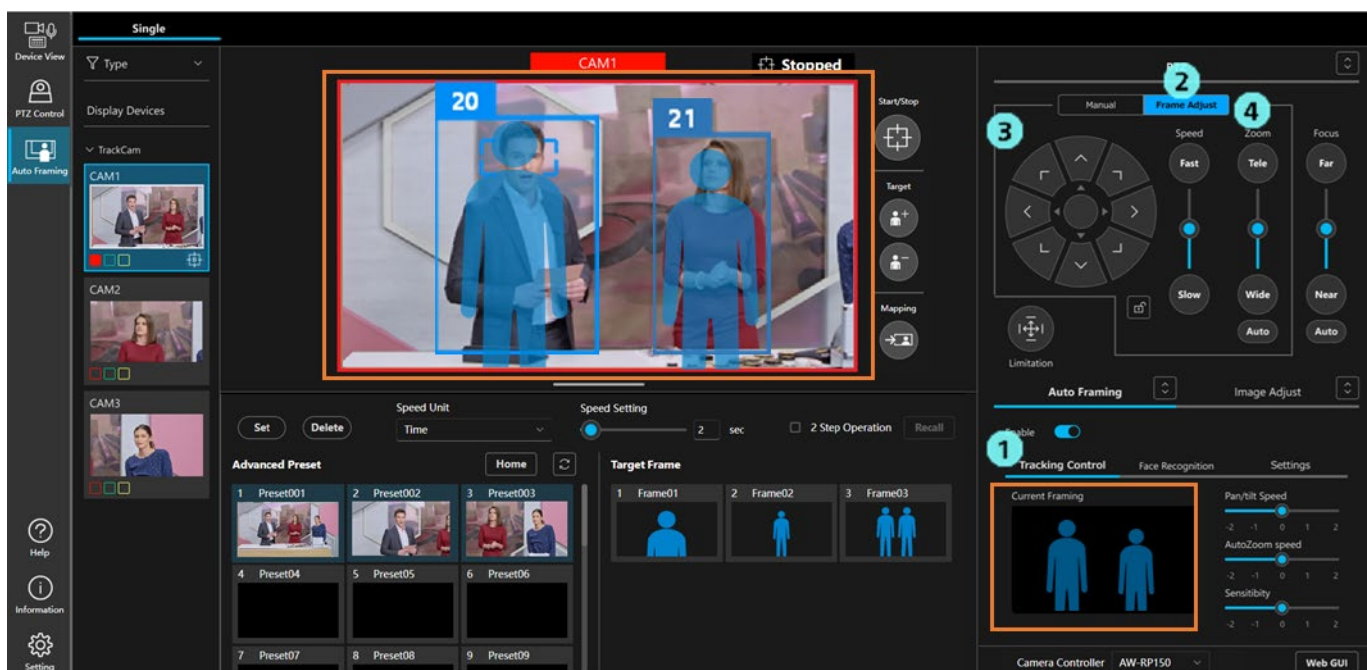
■構図を調整する

PTZ 操作エリアを使用して構図を調整する手順を説明します。

1 人を対象としたフレーミングと複数人を対象としたグループショットのどちらの場合でも、手順は共通です。

- ・カメラ制御が OFF のとき

1. Auto Framing タブ内の Tracking Control タブを選択状態にします。
2. PTZ 操作部の Frame Adjust タブを選択状態にします。
3. PTZ 操作部の Pan/Tilt 操作ボタンを押下すると、カメラ映像上と画面右下の Current Framing 欄の人型シルエットが移動します。
4. PTZ 操作部の Zoom ボタン／スライダーを操作すると、カメラ映像上と画面右下の Current Framing 欄の人型シルエットの大きさが変化します。
5. 手順 3.と手順 4.を行って、人型シルエットの位置と大きさを、フレーミング対象を表示したい位置と大きさに調整します。



・カメラ制御が ON のとき

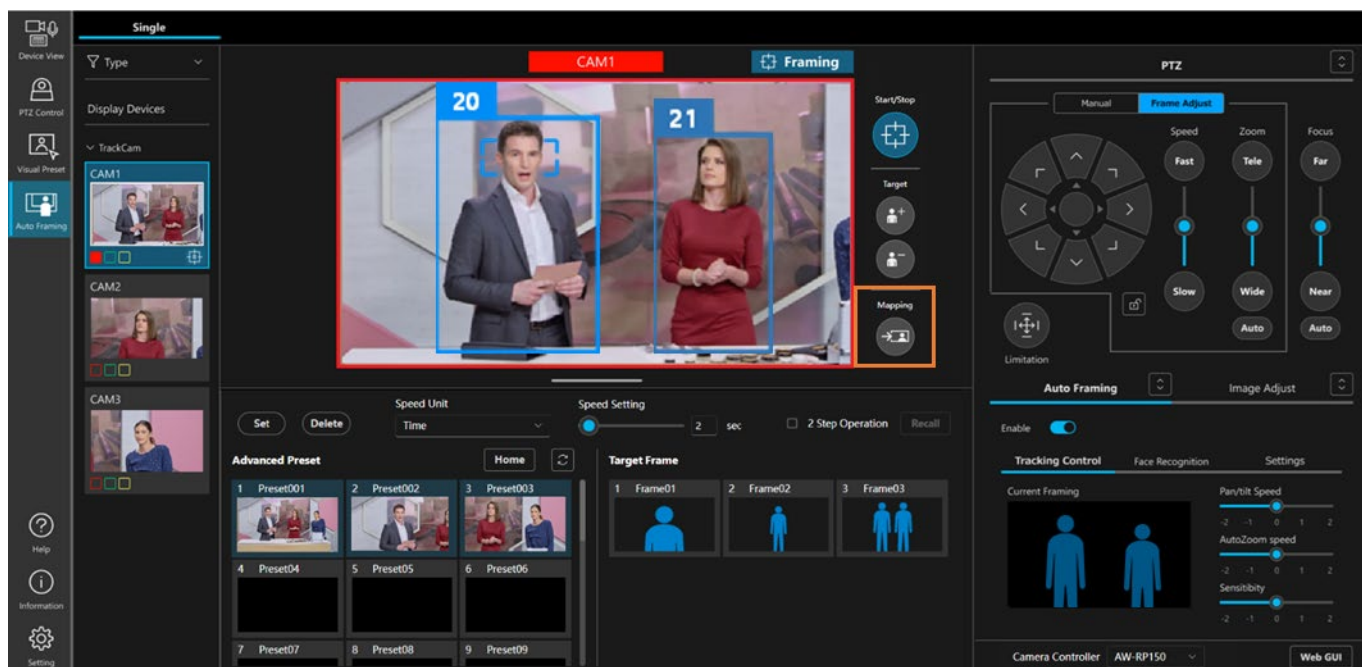
1. Auto Framing タブ内の Tracking Control タブを選択状態にします。
2. PTZ 操作部の Frame Adjust タブを選択状態にします。
3. PTZ 操作部の Pan/Tilt 操作ボタンを押下すると、画面右下の Current Framing 欄の人型シルエットが移動して、それに合わせてカメラの Pan/Tilt 位置も移動します。
4. PTZ 操作部の Zoom ボタン/スライダーを操作すると、画面右下の Current Framing 欄の人型シルエットの大きさが変化して、それに合わせてカメラの Zoom 位置も移動します。
5. 手順 3.と手順 4.を行って、フレーミング対象の位置と大きさを調整します。

■現在のフレーミング対象の状態を構図として適用する

カメラ映像内のフレーミング対象の位置と大きさの状態を構図として適用することができます。

1. カメラ映像内にフレーミング対象が映っている状態で、カメラ映像の右側にある Mapping ボタンを押下します。
2. Mapping ボタン押下時点のフレーミング対象の位置と大きさを元にした構図が作成され、画面右下の Current Framing 欄に人型シルエットとして表示されます。

※グループショット中の場合、フレーミング対象のうち両端 2 名の位置と大きさを元に構図が作成されます。



■カメラの移動速度と感度を調整する

フレーミング動作中のカメラの移動速度と感度を調整することができます。

1. Auto Framing タブ内の Tracking Control タブを選択状態にします。
2. Pan/Tilt Speed スライダーでカメラの Pan/Tilt 速度を調整します。
-2 (低速) ~ 0 (標準) ~ 2 (高速)
3. Auto Zoom Speed スライダーでカメラの Zoom 速度を調整します。
-2 (低速) ~ 0 (標準) ~ 2 (高速)
4. Sensitivity スライダーでカメラの感度 (フレーミング対象の動き量に対するカメラの反応度合い) を調整します。
-2 (低) ~ 0 (標準) ~ 2 (高)



ターゲットフレームの登録・呼び出し操作を行う

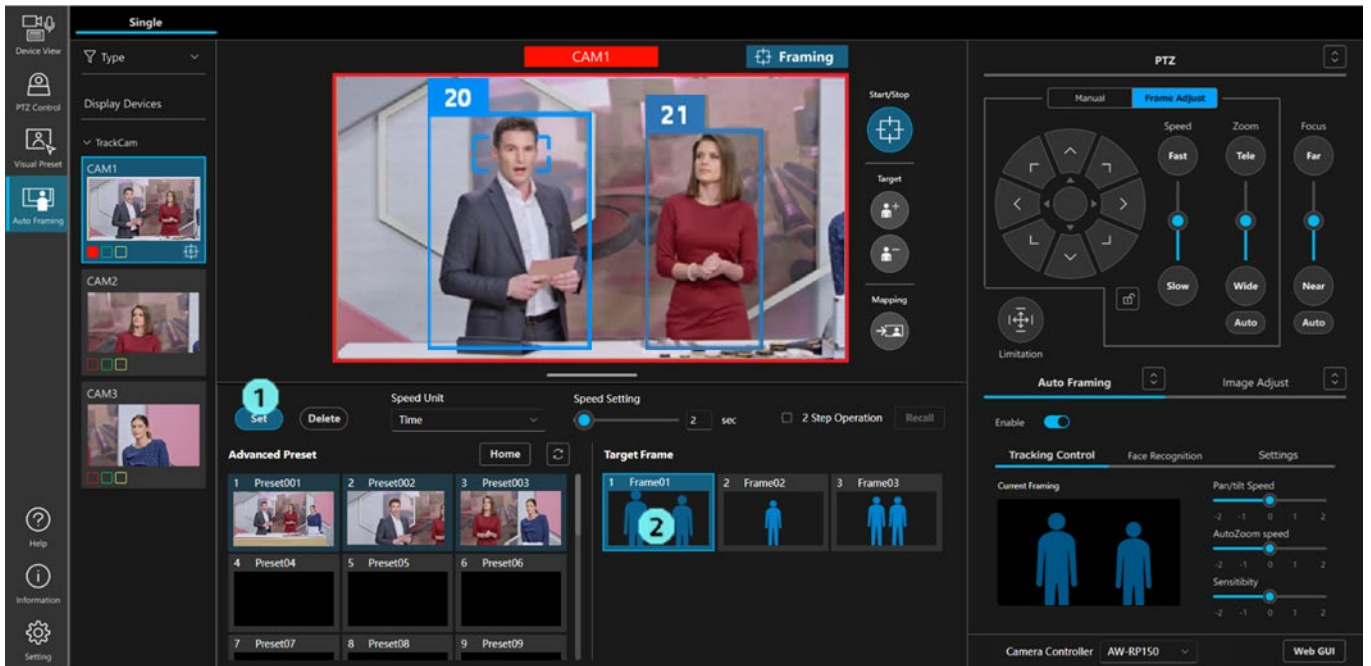
フレーミング設定をターゲットフレームとして登録し、任意のタイミングで呼び出すことができます。ターゲットフレームは3個まで登録することができます。

ターゲットフレームに保存される設定内容は以下の設定です。

- ・ Current Framing 欄に表示されている構図情報
- ・ カメラの移動速度設定 (Pan/Tilt Speed、Auto Zoom Speed)
- ・ カメラの感度設定 (Sensitivity)
- ・ Preset Speed の設定 (Speed Unit、Speed Setting)

■ターゲットフレームを登録する

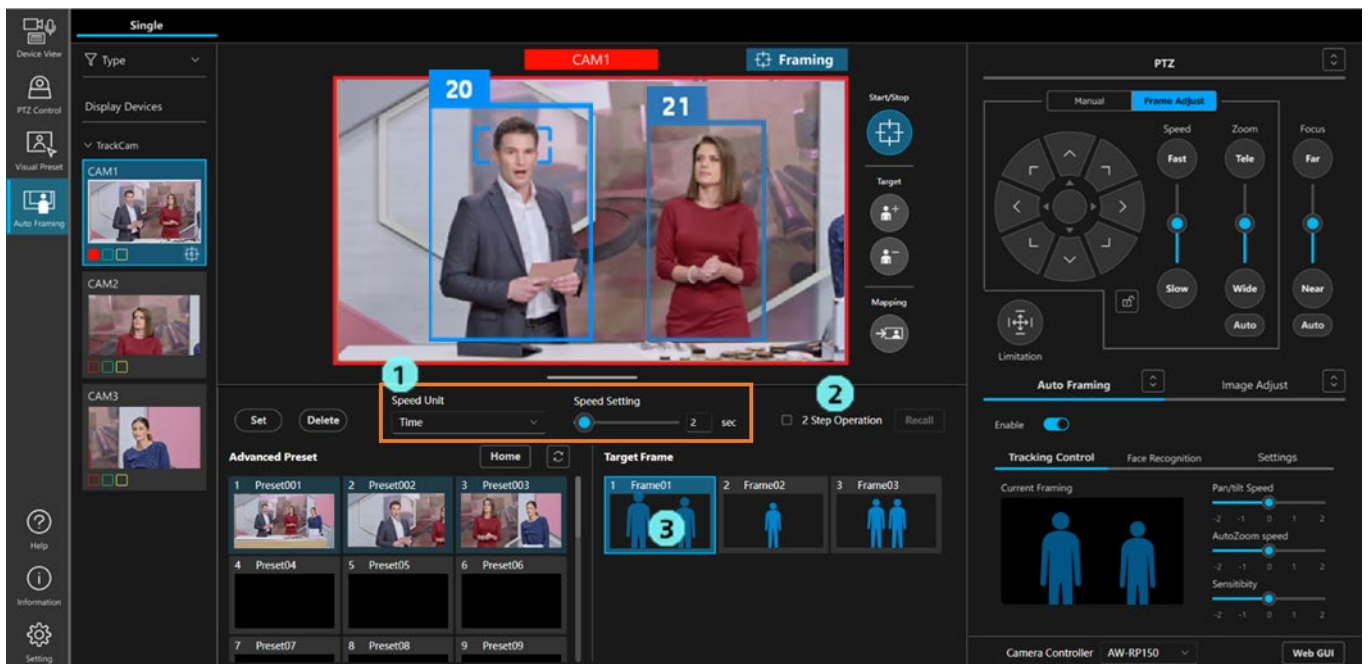
1. プリセットエリアの Set ボタンを押下して ON 状態にします。
2. Target Frame 欄のいずれかのターゲットフレームのサムネイル部をクリックすると、そのときのフレーミング設定が登録されます。



■登録したターゲットフレームを呼び出す

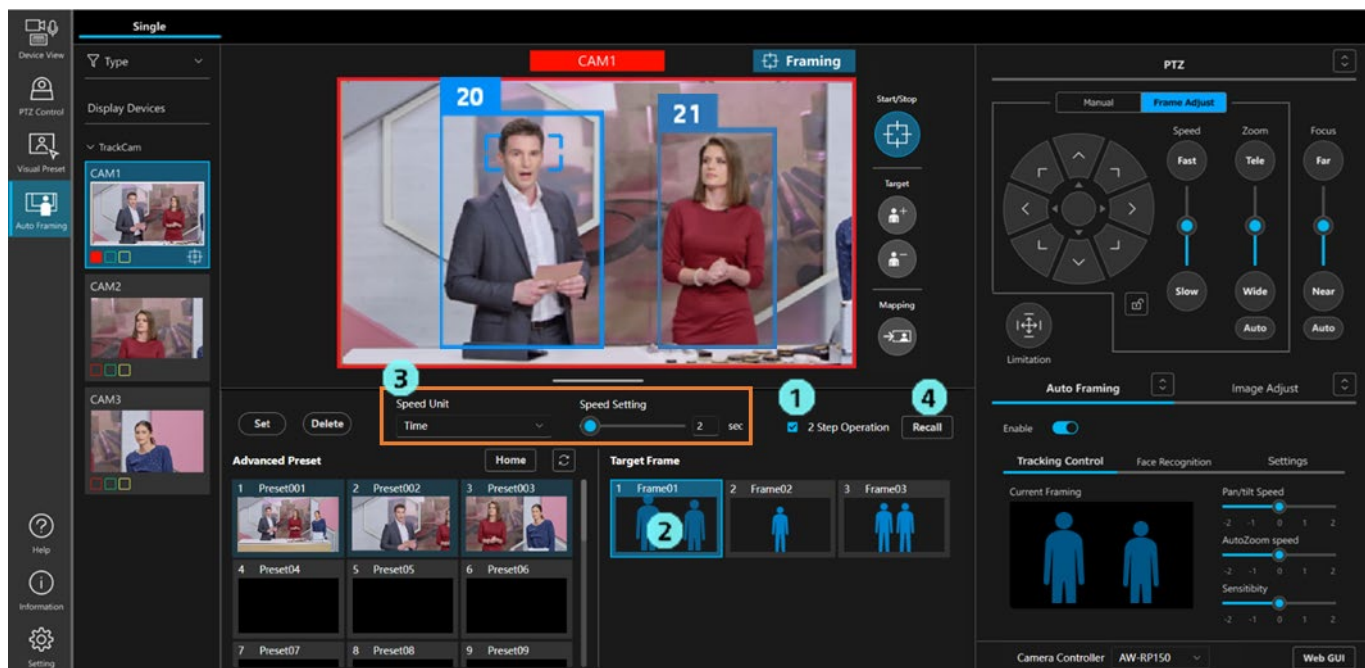
登録したターゲットフレームの呼び出し方法は以下の2通りから選択できます。

- ・サムネイルクリックで即呼び出し
 - ・サムネイルクリックして選択の後、Recall ボタンクリックで呼び出し
- ・サムネイルクリックで即呼び出しの手順
 1. プリセットエリアの Speed Unit, Speed Setting でプリセット呼び出し後のカメラの移動速度を設定します
 2. プリセットエリアの 2 step operation のチェックを OFF にします。
 3. Target Frame 欄のいずれかのサムネイルをクリックすると設定が呼び出されます。



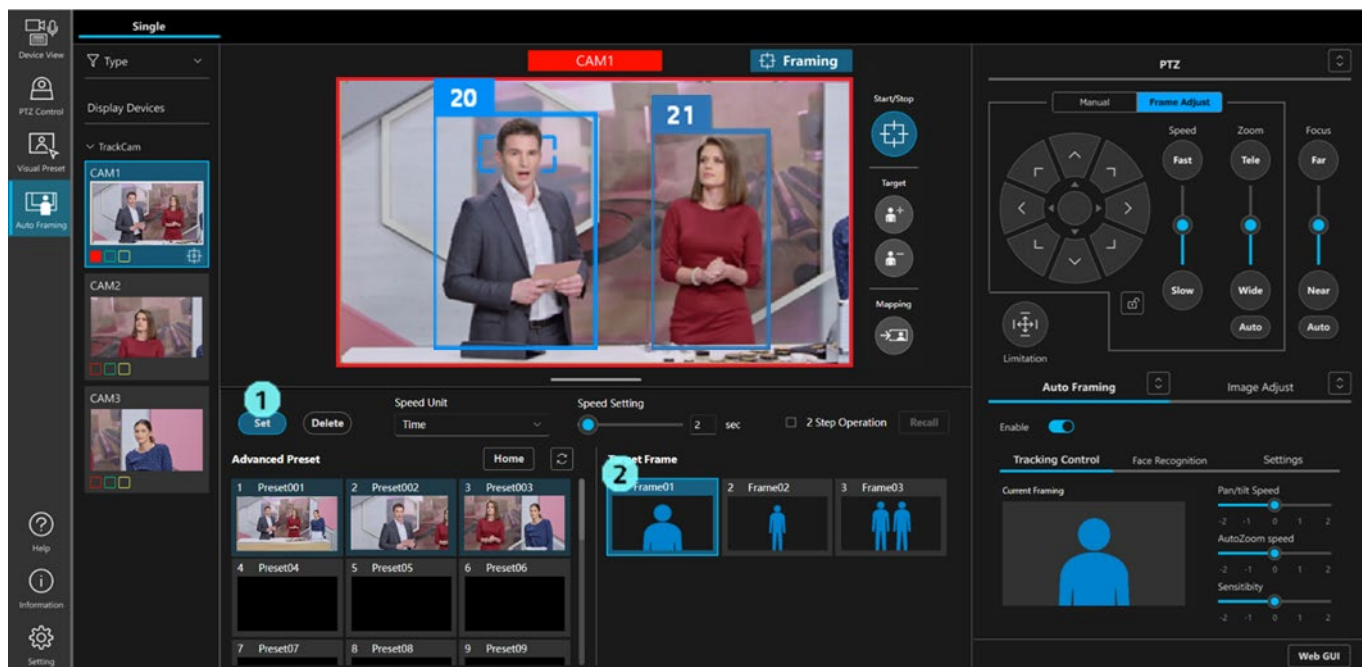
- ・サムネイルクリックして選択の後、Recall ボタンクリックで呼び出し

1. プリセットエリアの 2 step operation のチェックを ON にします。
2. Target Frame 欄のいずれかのサムネイルをクリックして選択状態にします。
3. プリセットエリアの Speed Unit, Speed Setting でカメラの移動速度を設定します。
4. プリセットエリアの Recall ボタンをクリックすると設定が呼び出されます。



■ターゲットフレームの名称を変更する

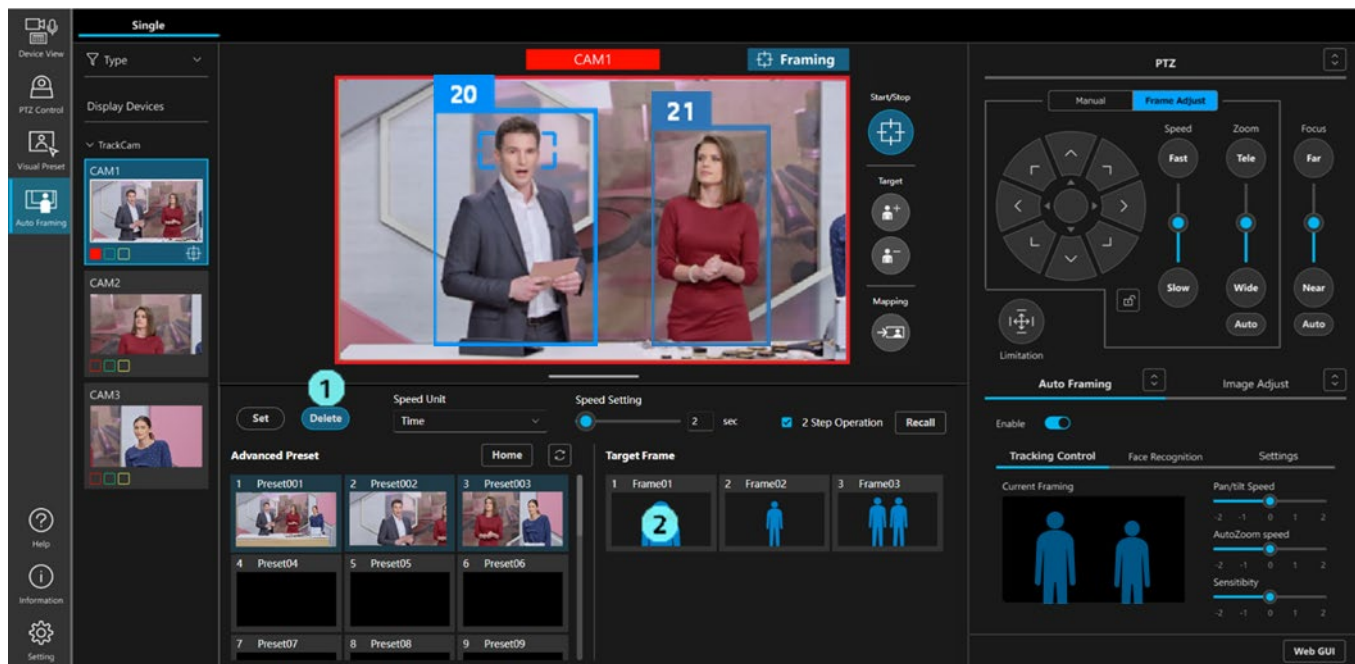
1. プリセットエリアの Set ボタンを押下して ON 状態にします。
2. Target Frame 欄の名称部をクリックすると、名称の編集モードになり、名称を変更することができます。



■ターゲットフレームを削除する

1. プリセットエリアの Delete ボタンを押下して ON 状態にします。

2. Target Frame 欄のいずれかのサムネイル部をクリックすると、そのターゲットフレームが削除されます。



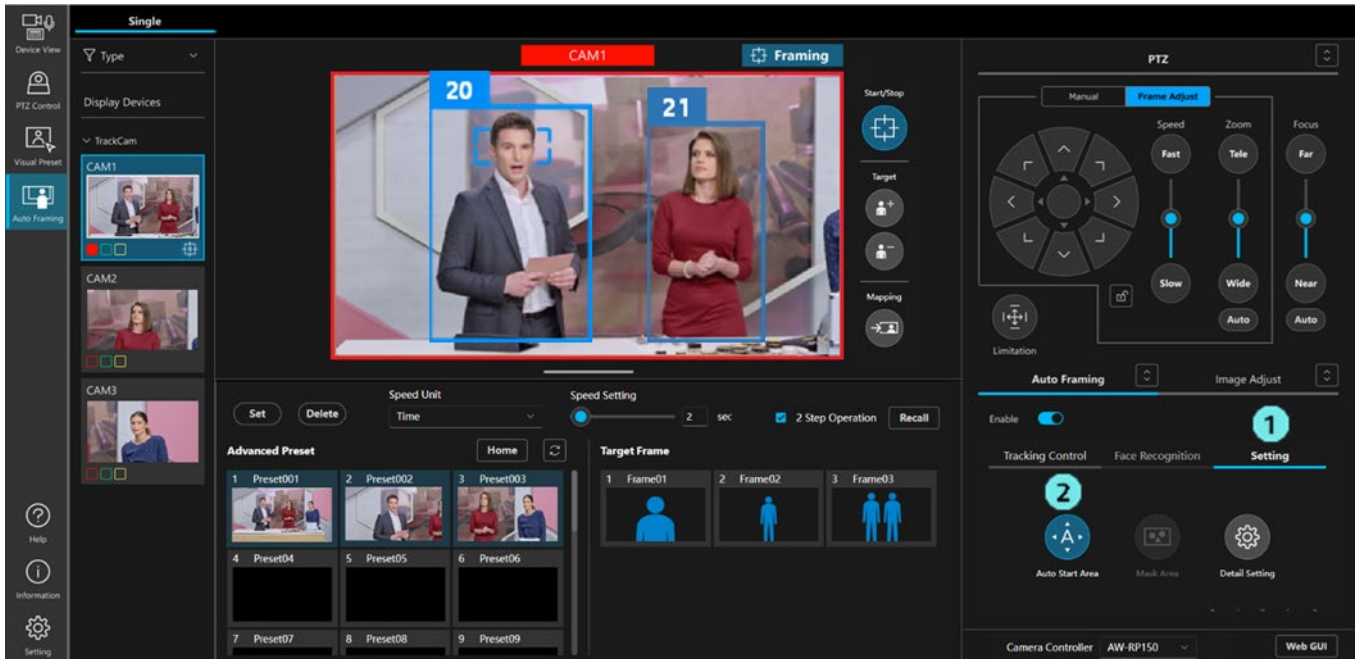
Auto Start Area を設定する

Auto Start Area を設定すると、エリア内で人体枠が検出されたときにフレーミング対象を選択するように条件が変更されます。

- ・設定できるエリア数は1個です。
- ・エリアの位置は設定時のカメラ Pan/Tilt/Zoom 位置と連動して記憶されます。そのため、設定後にカメラの Pan/Tilt/Zoom 位置が移動すると、それに合わせてエリアの位置とサイズも変化します。

■Auto Start Area の設定手順

1. Auto Framing タブ内の Setting タブを選択します。
2. Auto Start Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
Detail Setting で Initial position を設定している場合は、自動で Initial position にカメラが移動します。
Initial position を設定していない場合は、カメラは移動しません。
3. カメラ映像上でクリックした後にドラッグすると、領域を示す枠線が表示されます。ドラッグを終了すると、設定が完了します。
4. エリア設定後、エリア内に人体枠を検出するとフレーミング動作を開始します。



■ Auto Start Area の解除手順

1. 設定時と同様にして、Auto Start Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. 表示されたエリア右上の X ボタンをクリックすると、エリア指定が解除されます。

■ Auto Start Area の変更手順

1. 設定時と同様にして、Auto Start Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. エリアを移動したい時は、作成した枠内をクリックした後にドラッグすると、エリアの位置を移動できます。
 エリアのサイズを変更したい時は、作成した枠の角または辺の上でクリックした後にドラッグすると、サイズを調整できます。

<NOTE>

- ・ Auto Start Area が設定されている状態で Auto Start Area ボタンを OFF にしたとき、カメラ映像上のエリア表示は消去されますが、エリアの動作は有効のままとなります。
 エリアの動作を無効にしたい場合は上記解除手順に従ってエリア指定を解除してください。

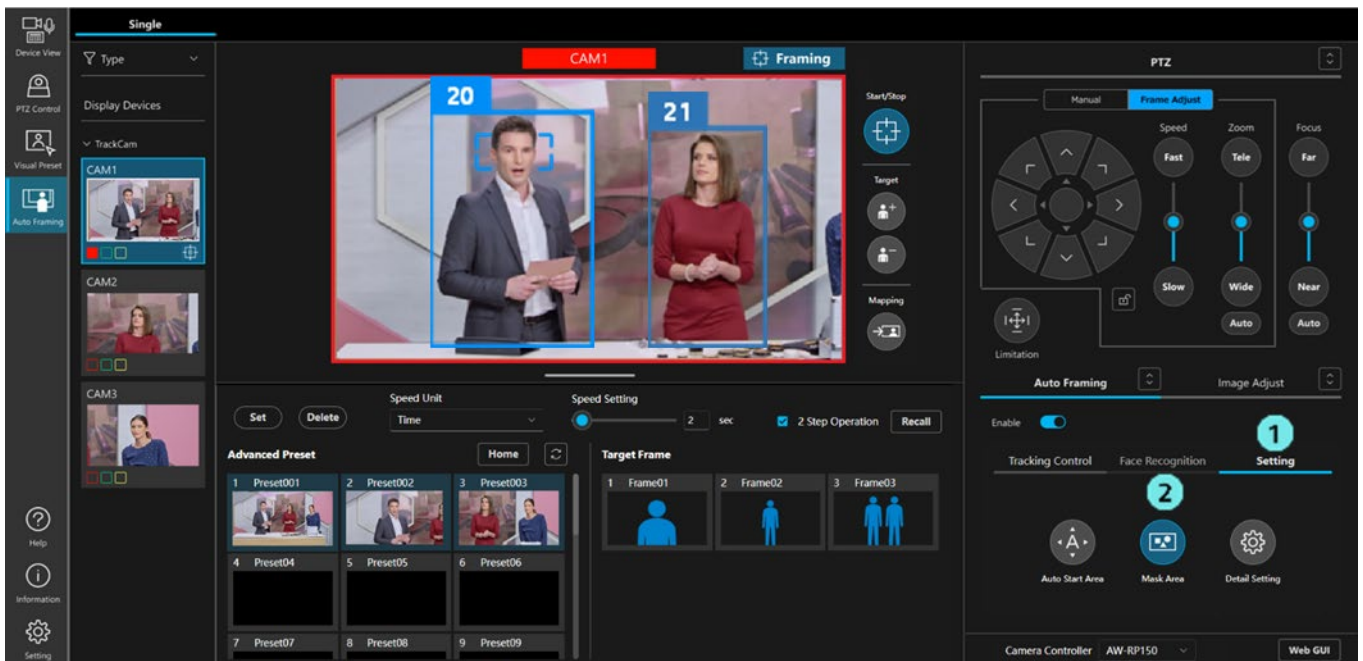
Mask Area を設定する

人を検出するときのマスクエリア（カメラ映像内で検出に使用しないエリア）を設定することができます。

- ・設定できるエリア数は3個までです。
- ・エリアの位置は設定時のカメラ Pan/Tilt/Zoom 位置と連動して記憶されます。そのため、設定後にカメラの Pan/Tilt/Zoom 位置が移動すると、それに合わせてエリアの位置とサイズも変化します。

■Mask Area の設定手順

1. Auto Framing タブ内の Setting タブを選択します。
2. Mask Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
3. カメラ映像上でクリックした後にドラッグすると、領域を示す枠線が表示されます。ドラッグを終了すると、設定が完了します。



■Mask Area の解除手順

1. 設定時と同様にして、Mask Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. 表示されたエリア右上の X ボタンをクリックすると、エリア指定が解除されます。

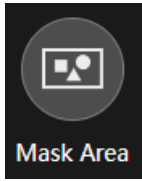
■Mask Area の変更手順

1. 設定時と同様にして、Mask Area ボタンをクリックして ON 状態にします。
2. エリアを移動したい時は、作成した枠内をクリックした後にドラッグすると、エリアの位置を移動できます。
エリアのサイズを変更したい時は、作成した枠の角または辺の上でクリックした後にドラッグすると、サイズを調整できます。

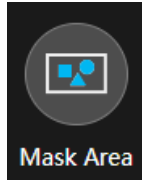
<NOTE>

- ・Mask Area が設定されている状態では、Mask Area ボタンを OFF にしてもエリアの動作は有効のままとなります。
エリアの動作を無効にしたい場合は上記解除手順に従ってエリア指定を解除してください。

- ・Mask Area ボタンを OFF にしたときのボタン表示で、Mask Area が設定されているかどうかを確認できます。



マスクエリア枠
設定数：0



マスクエリア枠
設定数：1 個以上

フレーミングの状態を確認する

カメラ映像表示エリア右上の表示で、フレーミングの状態を確認できます。



- カメラ制御停止中 : Stopped 表示
- フレーミング対象検出待ち : Searching 表示
- フレーミング動作中 : Framing 表示
- フレーミング対象ロスト中 : Lost 表示

カメラを手動で操作する

PTZ 操作部の Manual タブを選択して Pan/Tilt ボタン、Zoom スライダーを操作することで、カメラを手動で操作することができます。

手動での操作を行うと、フレーミングのカメラ制御は停止状態となります。再度フレーミングによるカメラ制御を行いたい場合は、フレーミング動作のスタート/ストップ切り替えボタンを再度 ON にしてください。

カメラのプリセット操作を行う

PTZ リモートカメラのプリセットを登録/呼び出しすることができます。

ボタン類の配置が異なりますが、登録／呼び出しの操作手順は、PTZ Control 機能と同様です。PTZ Control 操作説明書の「カメラのプリセット操作を行う」を参照ください。

本機能上でカメラプリセットの登録を行った場合、そのときのフレーミング設定がカメラプリセットに紐づけられて保存されます。保存されたフレーミング設定の構図はカメラプリセットのサムネイル上に人型シルエットの形で表示されます。

カメラプリセットを呼び出すと、フレーミング設定も合わせて呼び出されます。このとき、フレーミング設定のどの項目を呼び出すのかは詳細設定で設定を行うことができます。詳細は「[詳細設定を行う](#)」を参照ください。

カメラプリセットに紐づけられて保存／呼び出しされるフレーミング設定内容

- ・ Preset Speed の設定 (Speed Unit、Speed Setting)
- ・ Tracking Control タブの設定内容 (Current Framing の構図状態、Pan/Tilt Speed、Auto Zoom Speed、Sensitivity)
- ・ フレーミング動作のスタート／ストップ切り替えボタンの状態
- ・ Auto Start Area 設定
- ・ Mask Area 設定

<NOTE>

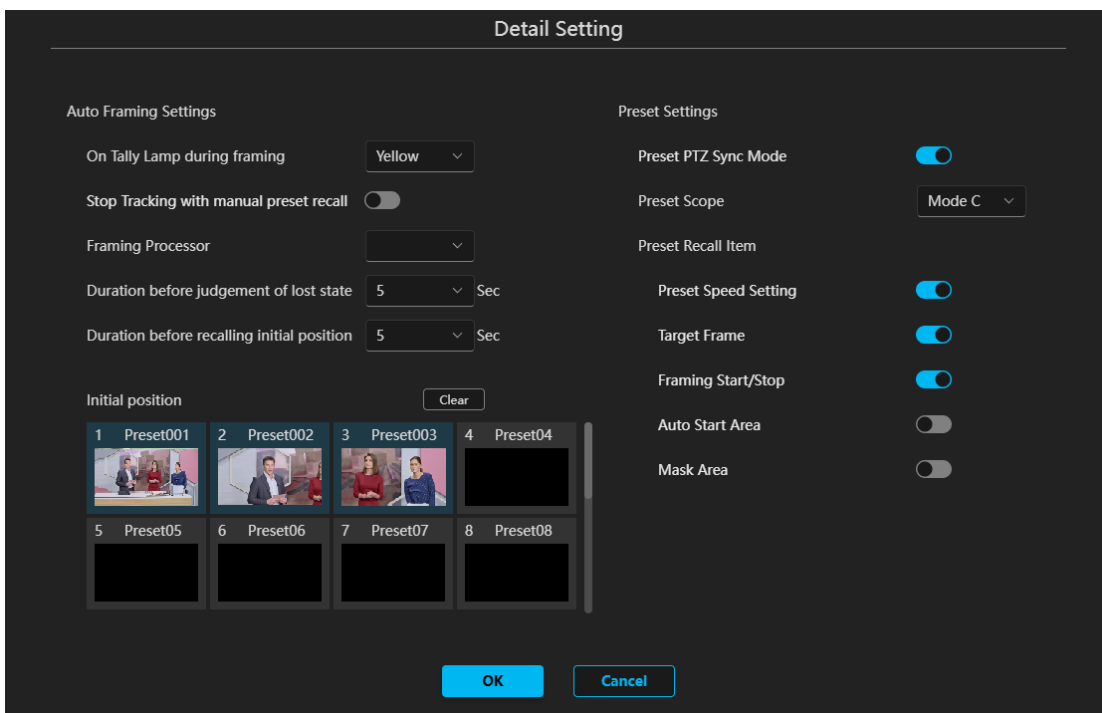
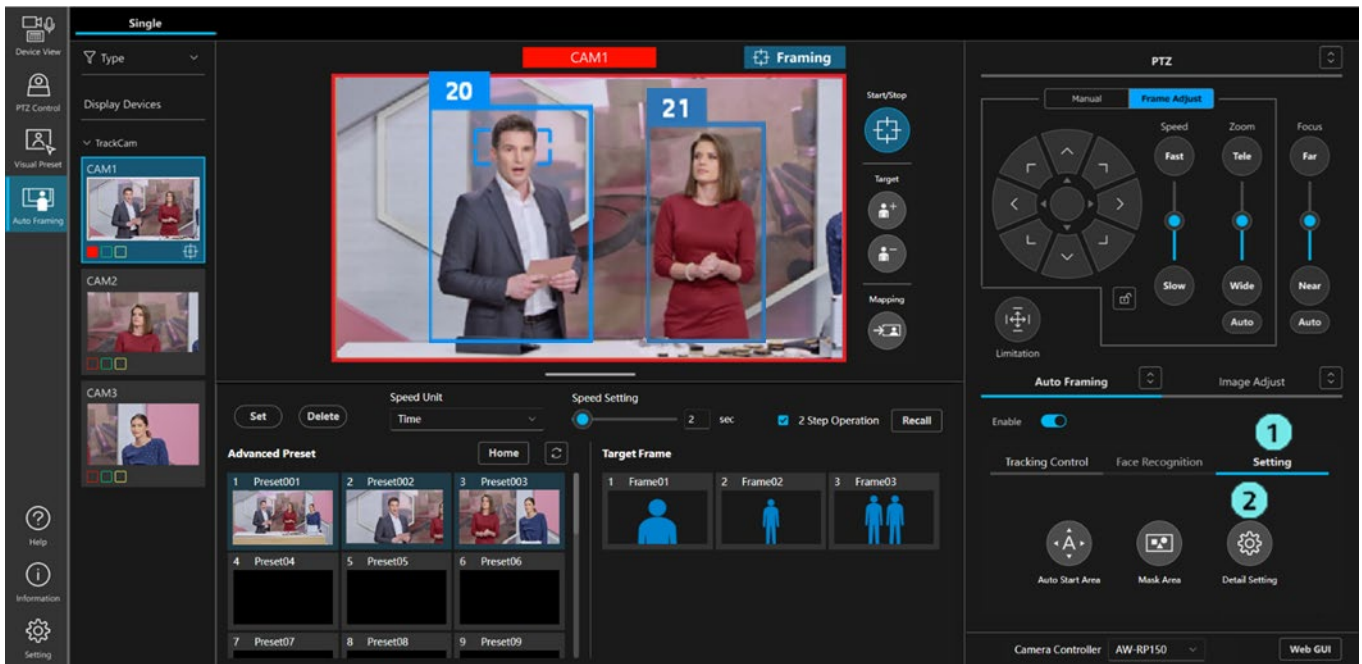
- ・ 本機能と PTZ Control 機能間で、プリセットの表示は同期していません。いずれかの機能で行ったプリセット登録／削除をもう一方の機能の表示に反映させるには、もう一方の機能上でプリセットの表示更新を行う必要があります。

詳細設定を行う

フレーミング機能の詳細設定を行うことができます。

詳細設定を行う画面は以下の手順で表示します。

1. Auto Framing タブ内の Setting タブを選択します。
2. Detail Setting ボタンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。



■Auto Framing Settings の設定項目

・ On Tally Lamp during framing

フレーミング対象が設定されてフレーミング動作中（状態表示が Framing 時）のカメラのタリーランプ点灯状態を以下のいずれかから設定します（初期値：Yellow）

Off：点灯無し

Yellow：黄タリー点灯

Green：緑タリー点灯

Red：赤タリー点灯

・ Stop Tracking with manual preset recall

カメラプリセットを手動で呼び出したときにフレーミング動作を停止させるかどうかを設定します（初期値：OFF）

OFF：フレーミング動作を停止しない

ON：フレーミング動作を停止する

- Framing Processor

将来の機能拡張用です。本バージョンでは機能しません。

- Duration before judgement of lost state

フレーミング対象を見失った後、ロストと判定するまでの時間を秒単位で設定します（初期値：5秒）

- Duration before recalling initial position

フレーミング対象を見失ってロストと判定した後、Initial position を呼び出すまでの時間を秒単位で設定します（初期値：5秒）

- Initial position

フレーミング対象を見失ってロストと判定した後に呼び出すカメラプリセットを設定します（初期値：設定なし）

いずれかのプリセットアイコンをクリックすると、そのプリセットが Initial position として設定されます。Clear ボタンをクリックすると設定なしの状態に戻ります。

■Preset Settings の設定項目

- Preset PTZ Sync Mode

PTZ リモートカメラの Preset PTZ Sync Mode の ON/OFF を設定します。

Preset PTZ Sync Mode については PTZ リモートカメラの操作説明書を参照ください。

- Preset Scope

PTZ リモートカメラの Preset Scope を設定します。

Preset Scope については PTZ リモートカメラの操作説明書を参照ください。

- Preset Recall Item

カメラプリセットを呼び出したとき、紐づけ保存されたフレーミング設定のどの項目を合わせて呼び出すかを設定します。本設定で ON になっている項目のみ、合わせて呼び出しが行われます。

- Preset Speed Setting（初期値：ON）

Preset Speed の設定（Speed Unit、Speed Setting）

- Target Frame（初期値：ON）

Tracking Control タブの設定内容（Current Framing の構図状態、Pan/Tilt Speed、Auto Zoom Speed、Sensitivity）

- Framing Start/Stop（初期値：ON）

フレーミング動作のスタート／ストップ切り替えボタンの状態

- Auto Start Area（初期値：OFF）

Auto Start Area 設定

- Mask Area（初期値：OFF）

Mask Area 設定

リモートカメラコントローラー連携

リモートカメラコントローラー連携について

当社製リモートカメラコントローラーを使用して、本機能との連携動作を行うことができます。

リモートカメラ連携の概念図は下図のようになります。

通常、リモートカメラコントローラーは PTZ リモートカメラと直接通信を行います。リモートカメラ連携を行う場合、本ソフトウェアがリモートカメラコントローラーと PTZ リモートカメラ間の通信を中継します。本ソフトウェアがリモートカメラコントローラーのカメラ選択動作やカメラの Pan/Tilt/Zoom 操作などを中継することで、カメラ選択の同期、リモートカメラコントローラー操作とフレーミング動作の連携を行います。



リモートカメラコントローラー連携で可能となる動作

リモートカメラコントローラー連携で可能となる動作は以下となります。

- ・本機能の画面上とリモートカメラコントローラー間で、カメラ選択を同期させる
- ・リモートカメラコントローラーからフレーミング機能 Enable スイッチを操作
- ・リモートカメラコントローラーからフレーミング動作のスタート/ストップを操作
- ・リモートカメラコントローラーの Pan/Tilt ジョイスティックまたは Zoom スライダーを操作したとき、フレーミング動作を停止して、手動カメラ制御を可能とする

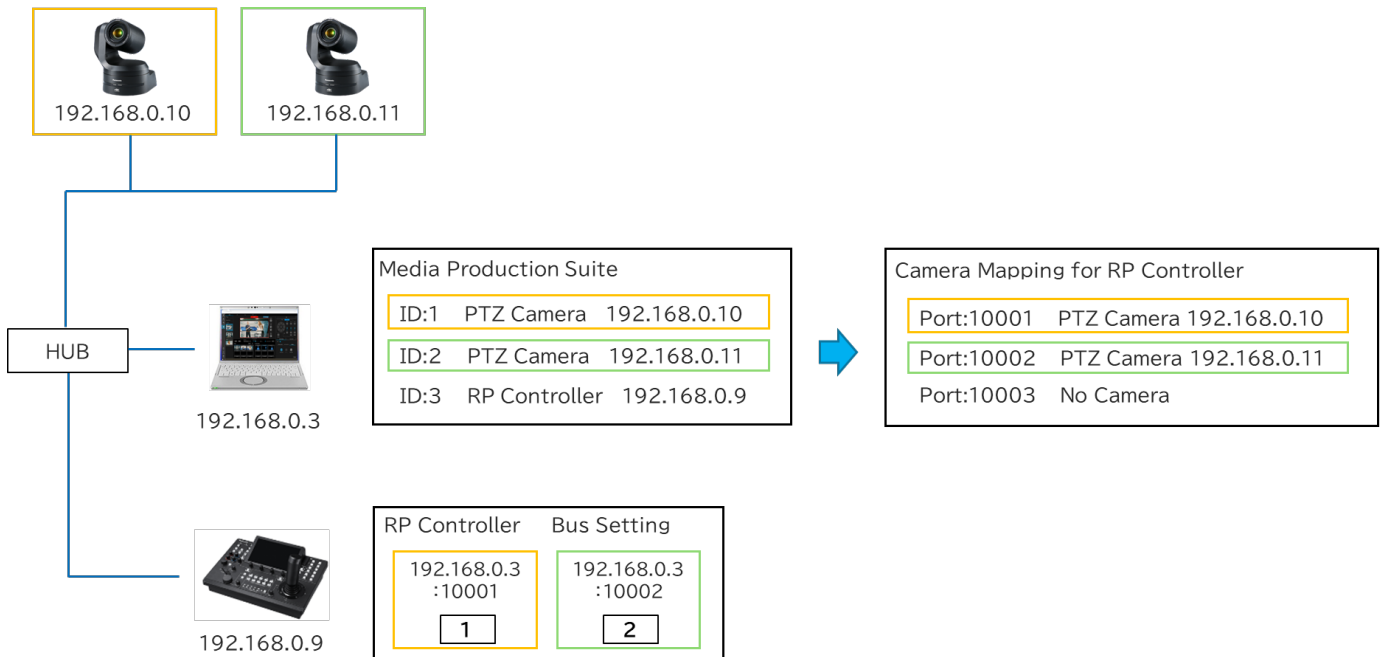
- ・リモートカメラコントローラーからカメラプリセットの呼び出し・登録・削除を行ったとき、本機能の GUI 画面上で操作を行ったときと同一の動作となる

<NOTE>

- ・カメラのフレーミング Enable スイッチが ON のとき、リモートカメラコントローラーからのカメラプリセットの呼び出し・登録・削除は、Web ブラウザで本機能の画面が表示されているときのみ実行されます。本機能の画面が表示されていない状態では実行されません。

リモートカメラコントローラー連携のシステムと設定の例

リモートカメラコントローラー連携を行うときのシステム例を以下に示します。



上図のシステム例では

- ・2台の PTZ リモートカメラ (IP アドレス : 192.168.0.10、192.168.0.11)
- ・本ソフトウェアがインストールされた PC (IP アドレス : 192.168.0.3)
- ・リモートカメラコントローラー (IP アドレス : 192.168.0.9)

が存在しており、本ソフトウェア上で PTZ リモートカメラ 2 台とリモートカメラコントローラーを登録済の状態です。

■本ソフトウェアのカメラマッピング動作

本ソフトウェアに PTZ リモートカメラを登録すると、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号 (初期設定では 10001) を起点として、登録された PTZ リモートカメラとポート番号のマッピングが行われます。

上図のシステム例は、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号設定が 10001、PTZ リモートカメラは ID:1~ID:2 の 2 台が存在するときのマッピング例を示しています。

- ・ポート番号 10001 : IP アドレス 192.168.0.10 のカメラをマッピング
- ・ポート番号 10002 : IP アドレス 192.168.0.11 のカメラをマッピング

■ リモートカメラコントローラーの設定

リモートカメラコントローラーのカメラ選択ボタンには

- ・ IP アドレス：本ソフトウェアがインストールされた PC の IP アドレス
- ・ ポート番号：カメラ選択ボタンの対象とするカメラがマッピングされたポート番号

を設定します。

上図のシステムの例の場合、以下のように設定を行います。

- ・ カメラ選択ボタン 1

IP アドレス：192.168.0.3、ポート番号：10001 (ID:1 のカメラを選択対象とする)

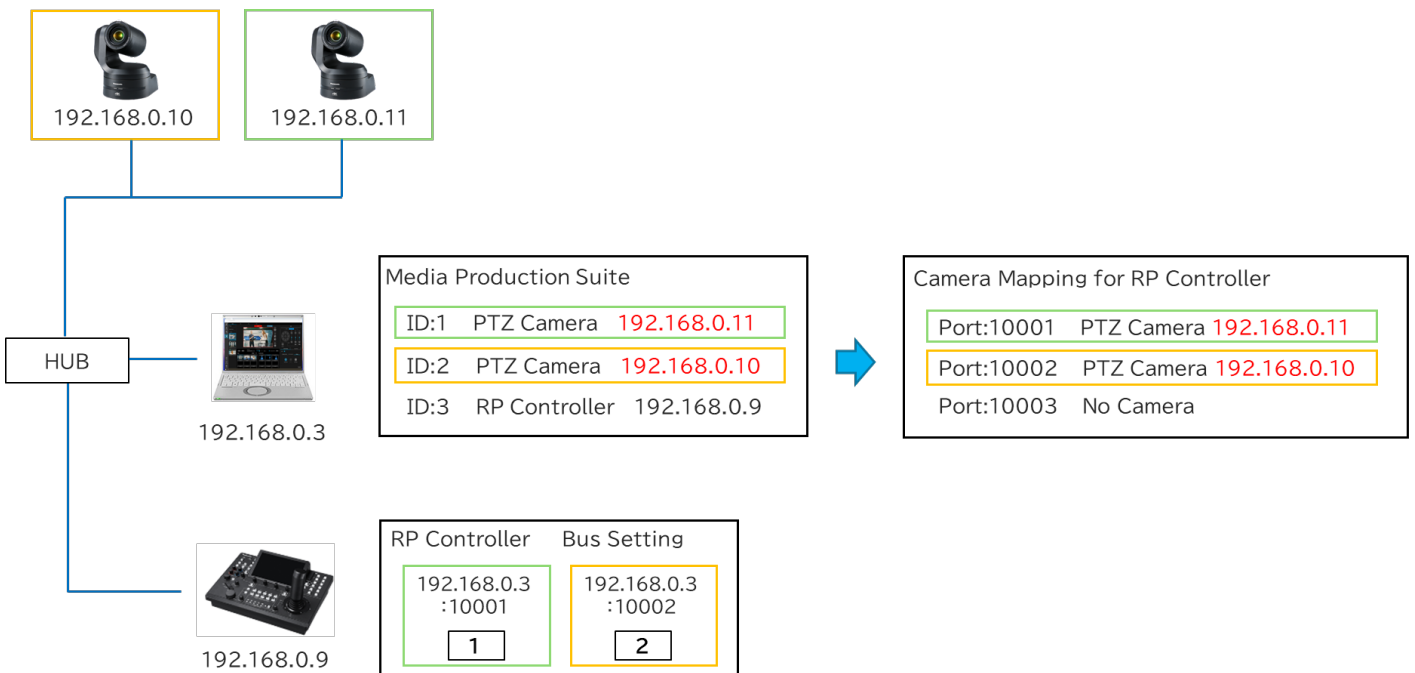
- ・ カメラ選択ボタン 2

IP アドレス：192.168.0.3、ポート番号 10002 (ID:2 のカメラを選択対象とする)

■ カメラの並び替えを行ったときの動作

上図のシステム例の状態から、本ソフトウェアで ID:1 のカメラと ID:2 のカメラの並び替えを行った場合の図を以下に示します。図で赤文字になっている箇所が変化した部分になります。

並び替えと連動して、本ソフトウェアのリモートカメラコントローラー連携用ポート番号にマッピングされるカメラも変化するため、リモートカメラコントローラー側の設定は変更することなく、カメラ選択ボタンで選択されるカメラも入れ替わります。



リモートカメラコントローラー連携の設定を行う

リモートカメラコントローラー連携を行うには、以下の設定を行う必要があります。

1. 本ソフトウェアで、PTZ リモートカメラを先頭グループに登録する。
2. 本ソフトウェアで、リモートカメラコントローラーに登録する。
3. 本ソフトウェアで、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号を設定する。
4. リモートカメラコントローラーで、本ソフトウェアのカメラマッピング状態に合わせてカメラの割り当てを行う。

5. リモートカメラコントローラーで、USER ボタンにフレーミング制御用の機能を割り当てる。
6. (カメラ選択の同期を行いたい場合) 本機能の GUI で、連携に使用するリモートカメラコントローラーを選択する。

以下、それぞれの設定手順について説明します。

■本ソフトウェアで、PTZ リモートカメラを先頭グループに登録する

PTZ リモートカメラの登録は Device View 機能の画面で行います。登録手順の詳細は Device View 機能の操作説明書の「デバイスの登録」を参照ください。

1. 本ソフトウェア画面左端の機能選択エリアで Device View ボタンをクリックして Device View 画面を表示します。
2. Device View 画面右上の Add Device ボタンをクリックして、デバイス登録画面を表示します。
3. デバイス登録画面の Group 欄で先頭のグループを選択します。
※先頭以外のグループを選択した場合、カメラ選択の同期が正常に動作しない原因となります。
必ず先頭のグループを選択してください。
4. デバイス登録画面の Auto Search 欄にネットワーク上のデバイス一覧が表示されますので、登録したい PTZ リモートカメラにチェックを入れます。
もしくは、デバイス登録画面の Manual 欄で Type : PTZ Camera を選択して、PTZ リモートカメラの IP アドレスなどを手動で入力します。
5. デバイス登録画面の OK ボタンをクリックすると登録が行われます。

■本ソフトウェアで、リモートカメラコントローラーを登録する

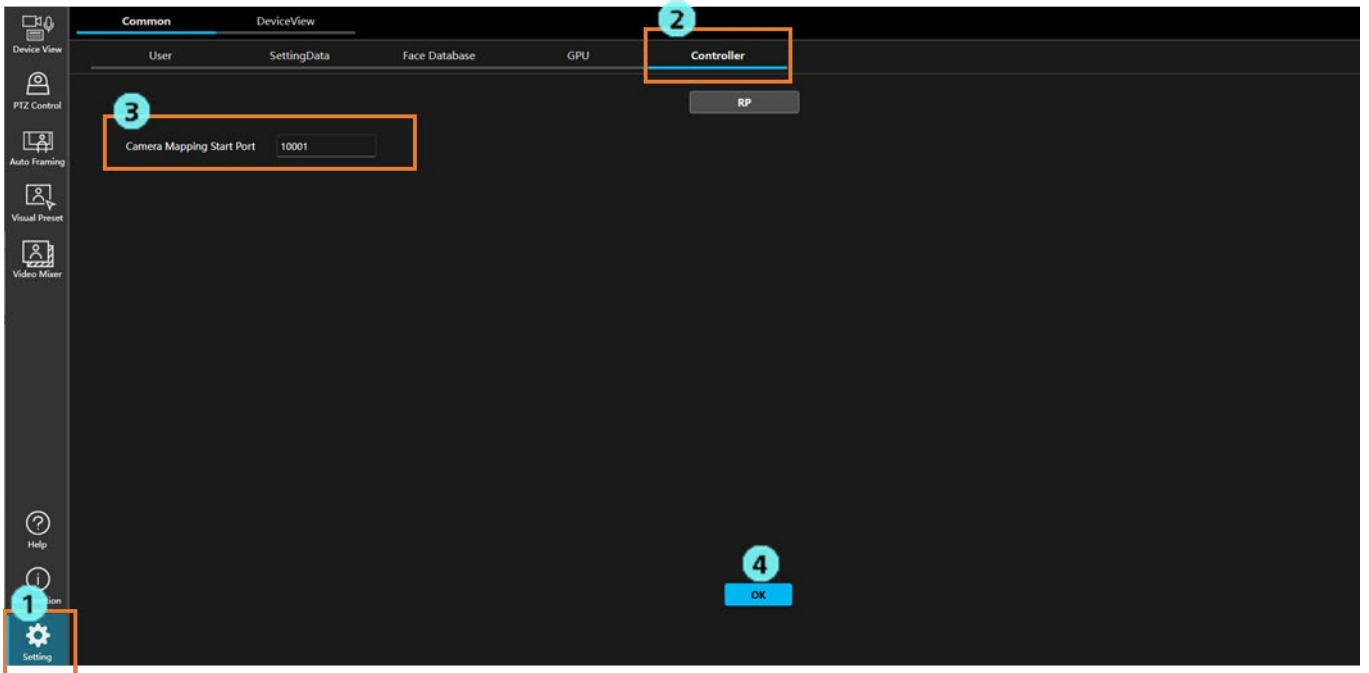
リモートカメラコントローラーの登録は Device View 機能の画面で行います。登録手順の詳細は Device View 機能の操作説明書の「デバイスの登録」を参照ください。

1. 本ソフトウェア画面左端の機能選択エリアで Device View ボタンをクリックして Device View 画面を表示します。
2. Device View 画面右上の Add Device ボタンをクリックして、デバイス登録画面を表示します。
3. デバイス登録画面の Auto Search 欄にネットワーク上のデバイス一覧が表示されますので、登録したいリモートカメラコントローラーにチェックを入れます。
もしくは、デバイス登録画面の Manual 欄で Type : RP Controller を選択して、リモートカメラコントローラーの IP アドレスなどを手動で入力します。
4. デバイス登録画面の OK ボタンをクリックすると登録が行われます。

■本ソフトウェアで、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号を設定する

リモートカメラコントローラー連携用のポート番号設定は Setting 機能の画面で行います。

初期状態ではポート番号として 10001 が設定されています。通常、設定変更は不要ですが、後述するカメラマッピングでエラーが発生した (ポート番号が使用できなかった) ときなどは別のポート番号に設定を変更してください。



1. 本ソフトウェア画面左端の機能選択エリアで Setting ボタンをクリックして Setting 画面を表示します。
2. Setting 画面上部の Controller タブを選択します。
3. Camera Mapping Start Port の値を 10001~50001 の範囲で入力します。
4. OK ボタンをクリックすると設定を保存します。

■ リモートカメラコントローラーで、本ソフトウェアのカメラマッピング状態に合わせてカメラの割り当てを行う。

「[リモートカメラコントローラー連携の概要](#)」に記載したように、本ソフトウェアに PTZ リモートカメラを登録すると、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号を起点として、登録された PTZ リモートカメラとポート番号のマッピングが行われます。

リモートカメラコントローラーのカメラ選択ボタンにカメラの割り当てを行う場合、本ソフトウェアのマッピングに従って設定を行う必要があります。

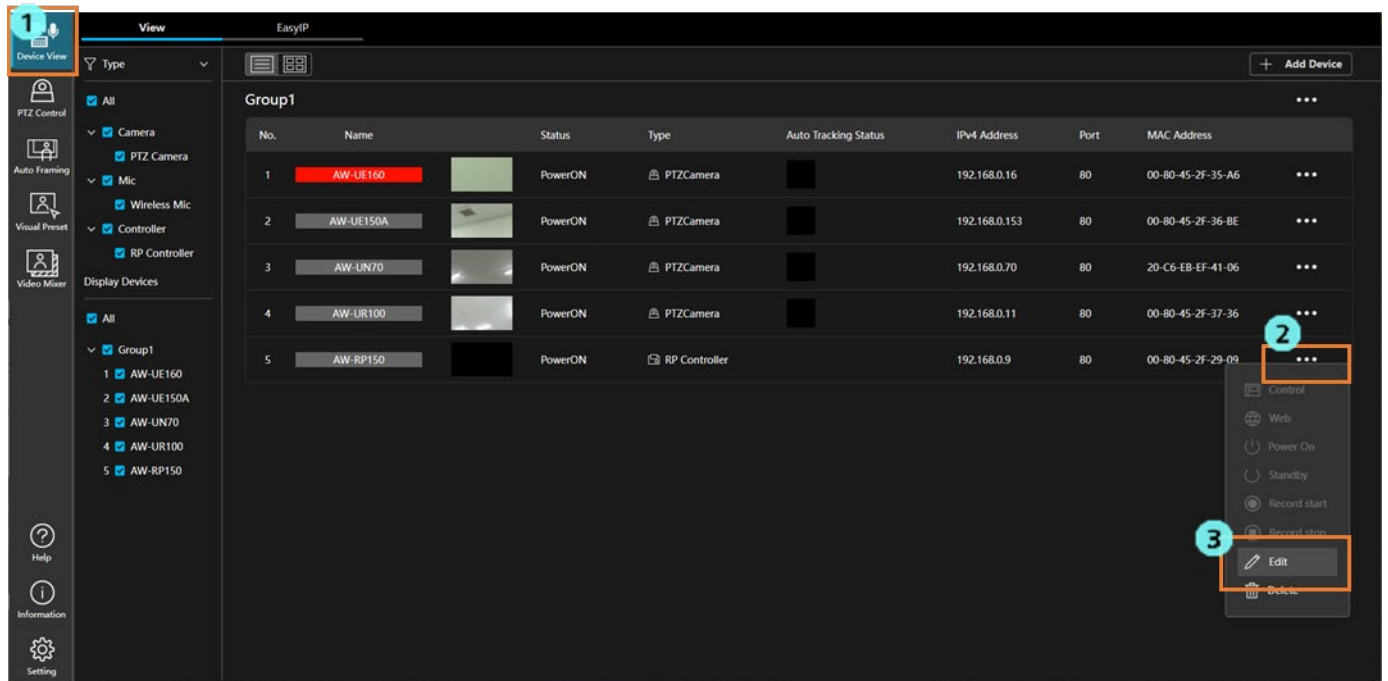
ここでは手順として

- ・本ソフトウェアのマッピング状態の確認手順
- ・リモートカメラコントローラーでのカメラ割り当て手順

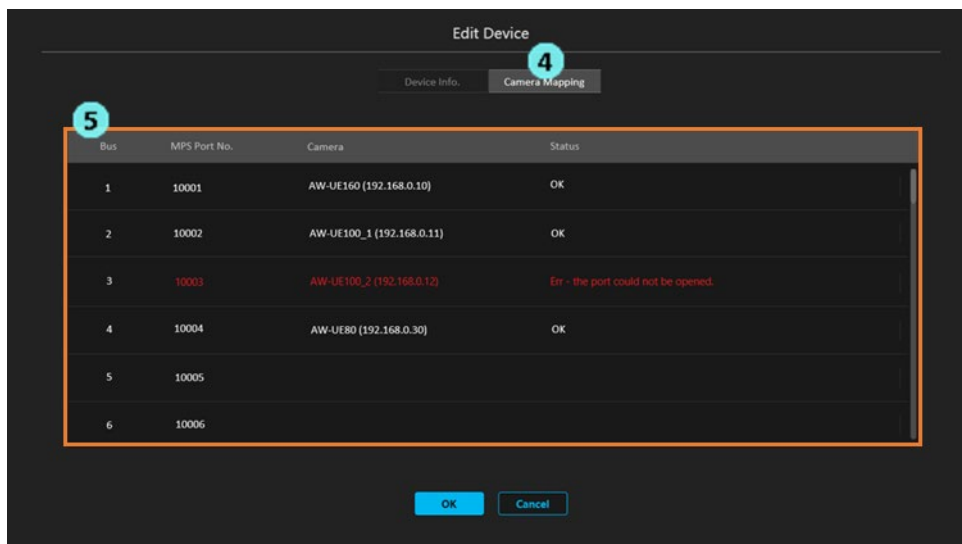
に分けて説明を行います。

本ソフトウェアのマッピング状態の確認手順

リモートカメラコントローラーの登録は Device View 機能の画面で行います。



1. 本ソフトウェア画面左端の機能選択エリアで Device View ボタンをクリックして Device View 画面を表示します。
2. Device View 画面のデバイスリストに表示されているリモートカメラコントローラー（Type：RP Controller のデバイス）の右端にある…ボタンをクリックして、デバイスメニューを表示します。リモートカメラコントローラーが複数台登録されている場合、どのリモートカメラコントローラーを選択しても構いません。
3. 表示されたデバイスメニューから Edit を選択して、デバイス編集画面を表示します。



4. デバイス編集画面の Camera Mapping タブを選択します。
5. 以下の内容がカメラマッピングリストとして表示されます。
 - Bus：1 から順に割り当てられたカメラ選択番号
 - MPS Port No.：リモートカメラコントローラー連携用ポート番号
 - Camera：リモートカメラコントローラー連携用ポートにマッピングされたカメラの名前と IP アドレス
 - Status：マッピング結果（正常時は”OK”表示、エラー時は”Err”の後に原因を表示）

すべてのカメラのマッピング結果が正常だった場合は、表示されたマッピング内容を使用してリモートカメラコントローラーへの割り当てを行って問題ありません。

マッピング結果にエラーがあった場合は、そのポートにマッピングされたカメラの選択は正常に動作しません。前述の「**本ソフトウェアで、リモートカメラコントローラー連携用のポート番号を設定する**」の手順に従ってポート番号を適当な番号に変更してください。ポート番号を変更すると再度マッピングが行われますので、上述の手順でマッピング結果を再確認してください。

リモートカメラコントローラーでのカメラ割り当て手順

本ソフトウェアとリモートカメラコントローラー間でのカメラ選択が一致するよう、リモートカメラコントローラーのカメラ選択ボタンにカメラ割り当てを行います。

カメラ選択ボタンにカメラ割り当てを行うときは、IP アドレスとポート番号を以下のように設定します。

IP アドレス：本ソフトウェアがインストールされている PC の IP アドレス

ポート番号：上述のマッピングリストで、カメラ選択ボタンの番号と一致する Bus 番号の MPS Port No.を設定

例) リモートカメラコントローラーのカメラ選択ボタン 3 の割り当てを行うとき

は、マッピングリストの Bus 番号 3 の行に表示されている MPS Port No.を設定

<NOTE>

- ・カメラ割り当て時のリモートカメラコントローラー側の操作手順については、リモートカメラコントローラーの操作説明書を参照ください。
- ・カメラコントローラーが複数台ある場合は、すべてのカメラコントローラーで同じように割り当てを行ってください。
- ・本ソフトウェアで以下の操作を行った場合はマッピングリストの内容が変化するので、再度マッピングリストの内容を確認して、リモートカメラコントローラーのカメラ割り当てを行ってください。
 - 登録されているデバイスの追加／削除／並び替え
 - リモートカメラコントローラー連携用のポート番号の変更

■リモートカメラコントローラーで、USER ボタンにフレーミング制御用の機能を割り当てる

リモートカメラコントローラーの USER ボタンに以下の制御機能を割り当てることができます。

- ・フレーミング機能 Enable スイッチの操作
- ・フレーミング動作のスタート／ストップ切り替え操作

機能を割り当てる場合はリモートカメラコントローラー側で以下の設定を行ってください。設定方法の詳細はリモートカメラコントローラーの操作説明書を参照ください。

- ・SYSTEM->TRACKING の項目を以下の通り設定
TR CONT : LAN
TR IP : 本ソフトウェアがインストールされている PC の IP アドレス
PORT : 1338
- ・FUNCTION->USER ASSIGN の項目で USER ボタンを以下のように設定

フレーミング機能 Enable スイッチの操作を割り当てたい USER ボタン：TR CNCT を設定
フレーミング動作のスタート/ストップ操作を割り当てたい USER ボタン：TRCKING を設定

■ リモートカメラコントローラーの推奨設定

本機能を使用する場合、リモートカメラコントローラー側で以下の設定を行うことを推奨します。
設定方法の詳細はリモートカメラコントローラーの操作説明書を参照ください。

プリセットの Speed Setting を本ソフトウェアで実行するための設定

- ・ AW-RP150 の場合

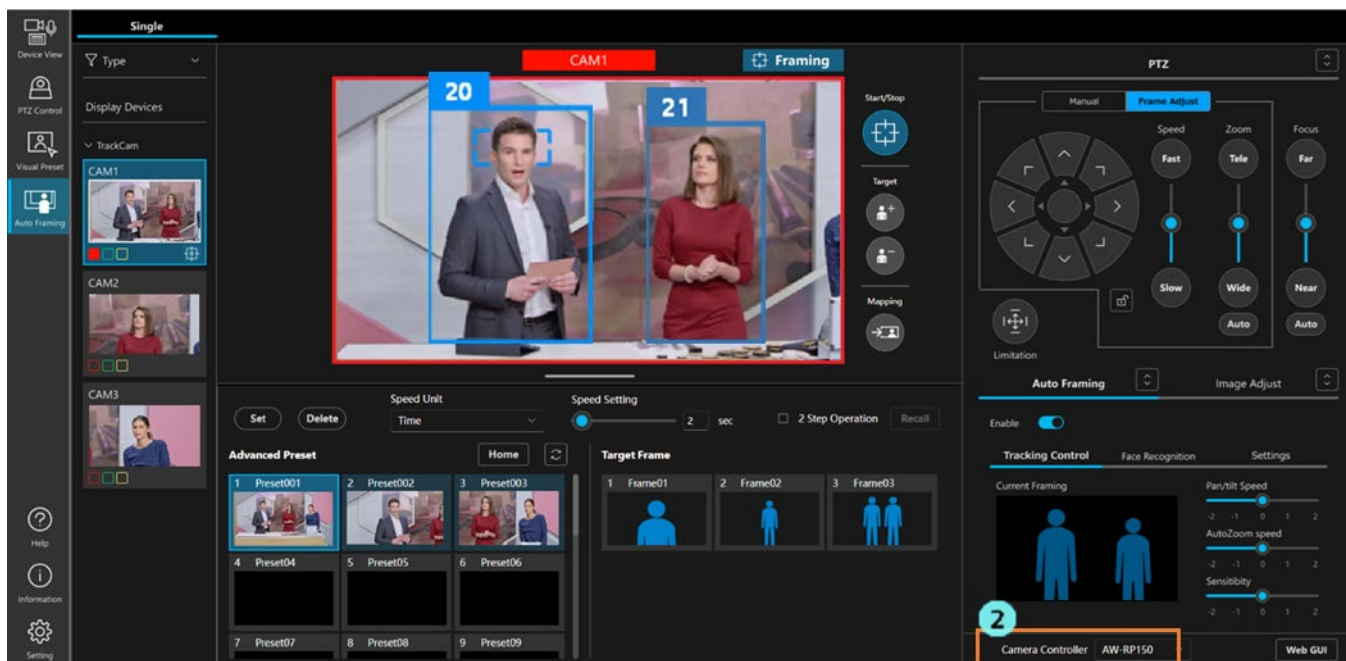
PMEM/TMEM -> SETTING -> RCL SP MD : CAMERA に設定

- ・ AW-RP60 の場合

MENU -> PMEM SETTING -> SETTING -> RP CTRL SPD MODE : CAMERA に設定

■ (カメラ選択の同期を行いたい場合) Auto Framing 機能の GUI で、連携に使用するリモートカメラコントローラーを選択する

リモートカメラコントローラーと本ソフトウェア間でカメラ選択の同期を行いたい場合は、本機能の GUI 画面で同期を行いたいリモートカメラコントローラーを選択する必要があります。



1. 本機能の画面を表示します。
2. 画面右下の Camera Controller リストで、同期を行いたいリモートカメラコントローラーを選択すると、選択したリモートカメラコントローラーと本機能の画面間でカメラ選択の同期が行われます。
リストで空白を選択した場合は同期が行われません。

<NOTE>

- ・ 同期は Web ブラウザで開かれている画面単位で行われます。そのため、Web ブラウザの複数のタブそれぞれで本機能の画面を開いている場合、画面ごとに選択が必要となります。
カメラコントローラーが複数台存在する場合、同期させるカメラコントローラーを画面ごとに変えることもできます。

アカウント権限による機能制限

権限による制限の一覧

Administrator/Super User/User のアカウント権限のうち User 権限では使用できる機能に制限が発生します。以下の表で○になっている箇所が使用できる機能になります。

		Administrator	Super User	User
操作可能なカメラ		すべて	すべて	許可されたカメラのみ
Auto Framing 操作	オートフレーミング機能の ON/OFF	○	○	○
	フレーミング動作の Start/Stop	○	○	○
	Target 追加/削除	○	○	○
	Mapping ボタン操作	○	○	○
	フレーミング設定 - Pan/Tilt/Zoom 操作部による調整	○	○	○
	フレーミング設定 - Auto Zoom 設定	○	○	○
	フレーミング設定 - Pan/Tilt Speed 調整	○	○	○
	フレーミング設定 - Auto Zoom Speed 調整	○	○	○
	フレーミング設定 - Sensitivity 調整	○	○	○
	ターゲットフレーム登録/削除	○	○	
	ターゲットフレーム呼び出し	○	○	○
	ターゲットフレーム名称設定	○	○	
	ターゲットフレーム Speed 設定	○	○	○
	Auto Start Area の設定	○	○	○
Mask Area の設定	○	○	○	
Detail Setting の設定	○	○		
PTZ 操作	Pan/Tilt 操作	○	○	○
	Zoom 操作	○	○	○
	Pan/Tilt Limitation	○	○	
プリセット操作	プリセット登録/削除	○	○	○
	プリセット呼び出し	○	○	○

	プリセット表示更新	○	○	○
	プリセット名称設定	○	○	○
	プリセット Speed 設定	○	○	○
	Home ポジション呼び出し	○	○	○
Focus／画質調整	Focus	○	○	○
	Iris	○	○	○
	Gain	○	○	
	White Balance	○	○	
	AWB/ABB	○	○	
	Shutter	○	○	
	ND Filter	○	○	
その他操作	連携対象のリモートカメラコントローラー選択	○	○	○
	カメラの Web 画面表示	○	○	○